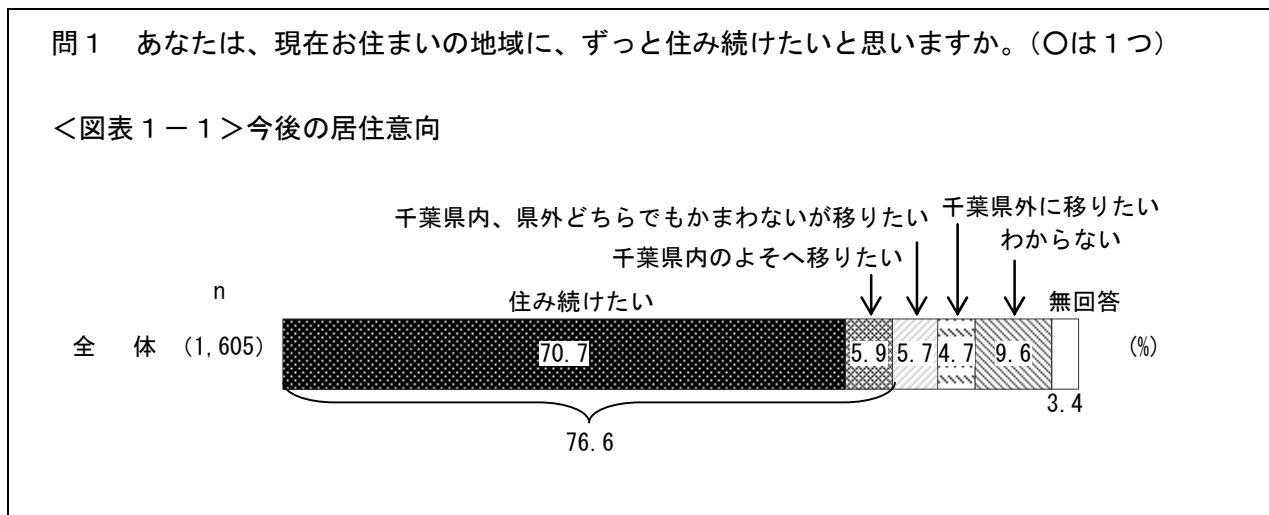


# 1 環境と生活について

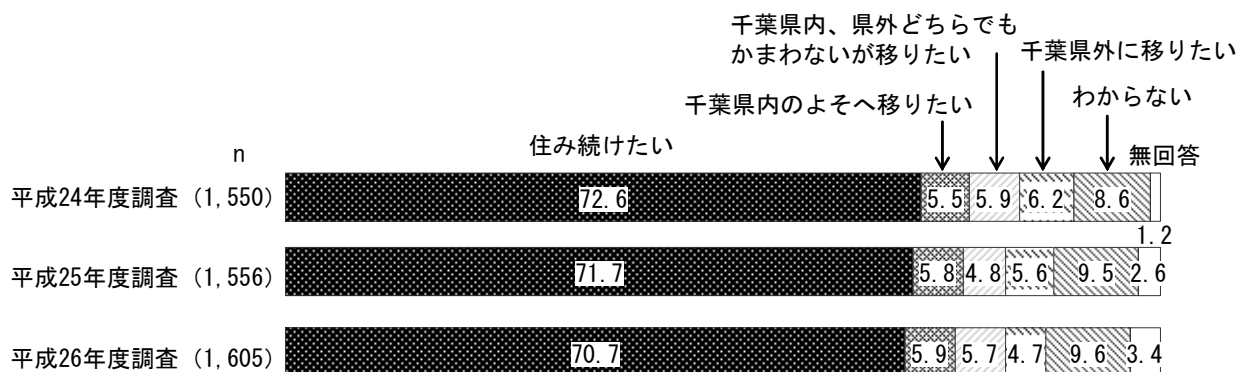
## (1) 今後の居住意向

◇「住み続けたい」が7割



現在お住まいの地域の今後の居住意向を聞いたところ、「住み続けたい」(70.7%)は7割、「千葉県内のよそへ移りたい」(5.9%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(76.6%)は7割台半ばである。一方、「千葉県外に移りたい」は4.7%となっている。(図表1-1)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



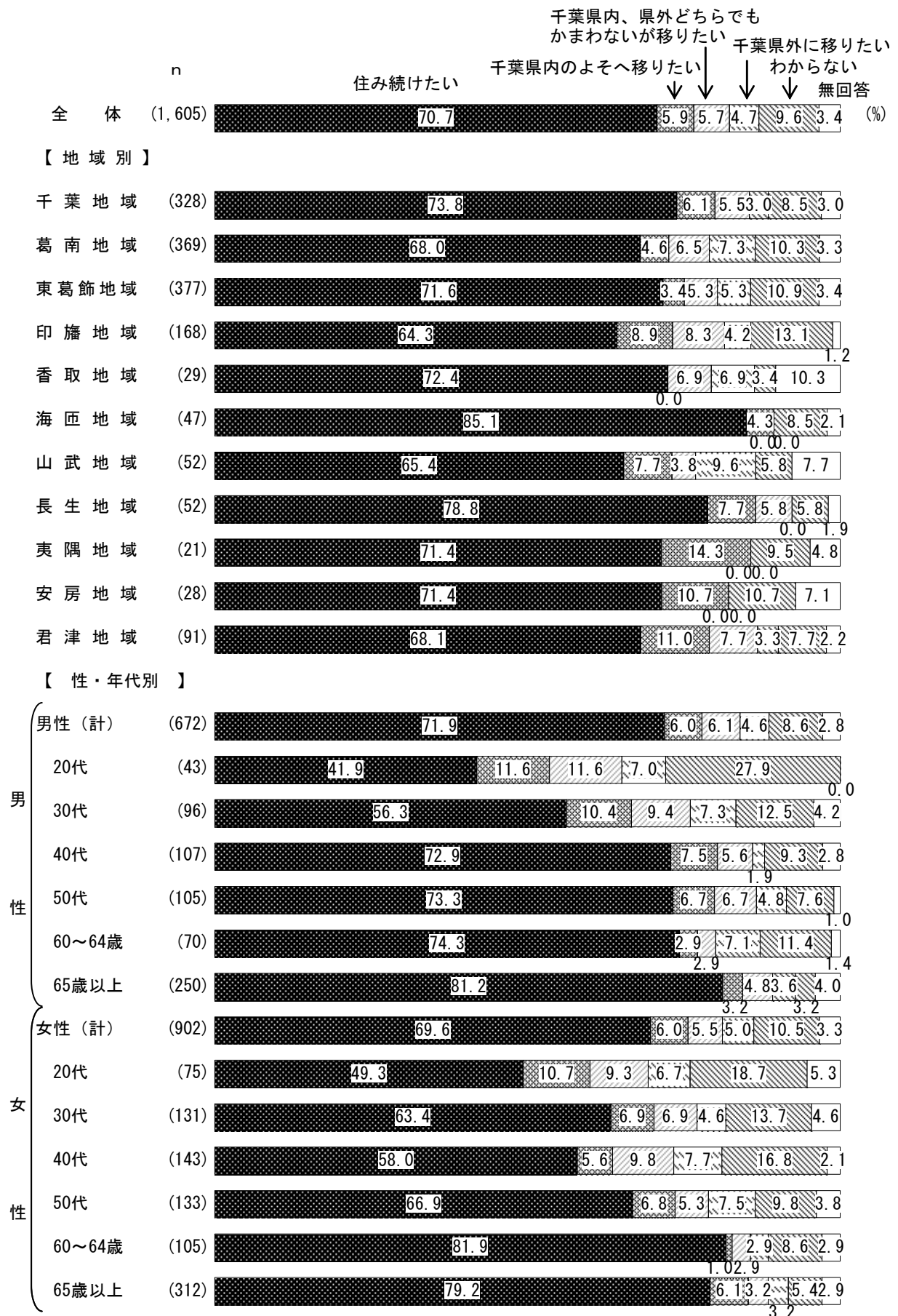
### 【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“海匝地域”(85.1%)が8割台半ばで最も高く、“長生地域”(78.8%)が約8割、“千葉地域”(73.8%)が7割台半ばで続いている。(図表1-2)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(81.2%)と女性の60~64歳(81.9%)が8割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-2)

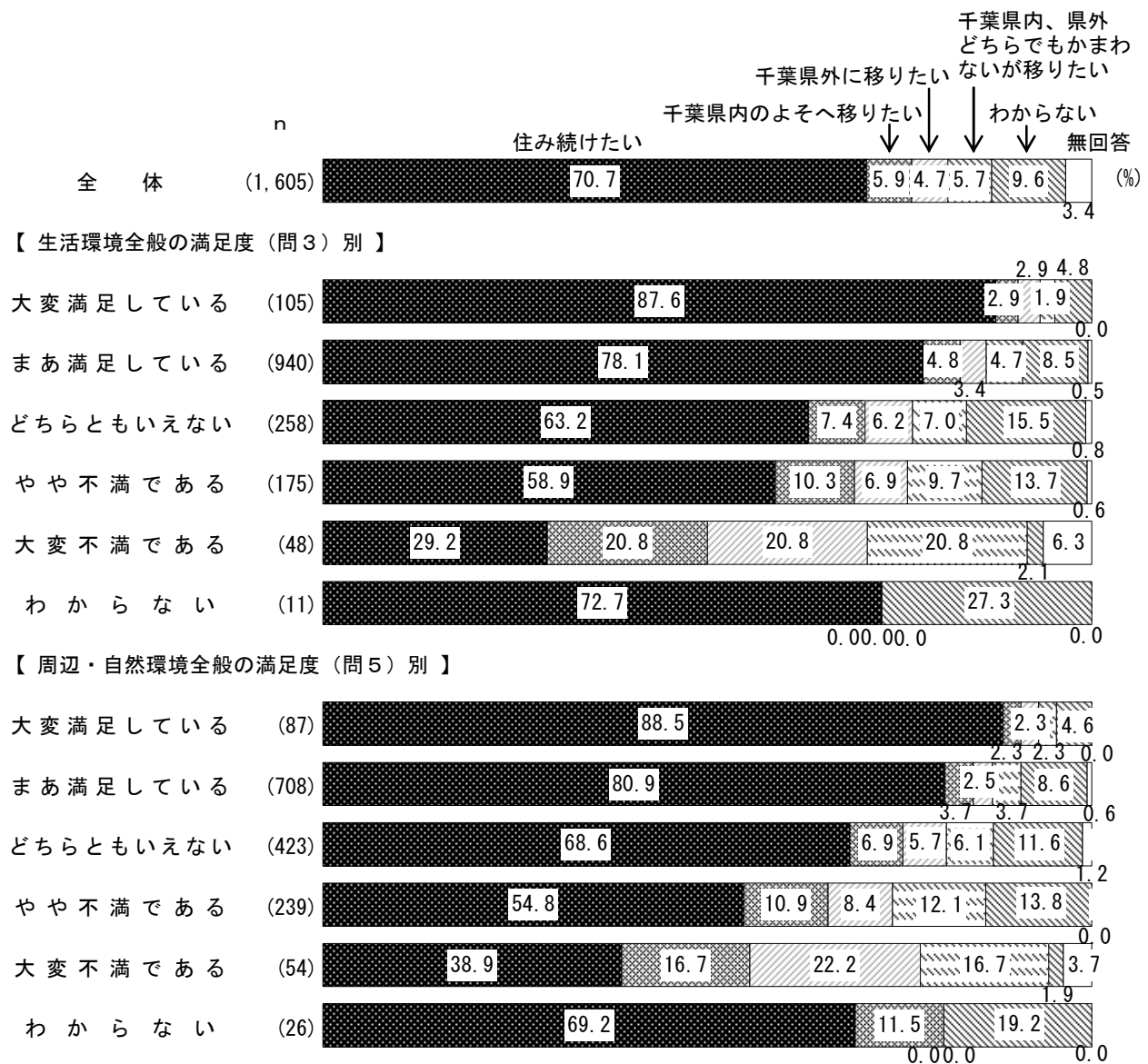
<図表 1-2> 今後の居住意向／地域別、性・年代別



<今後の居留意向と各環境の満足度>

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「周辺・自然環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、周辺・自然環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1-3)

<図表1-3> 今後の居留意向と各環境の満足度



## (1-1) 住み続けたい理由

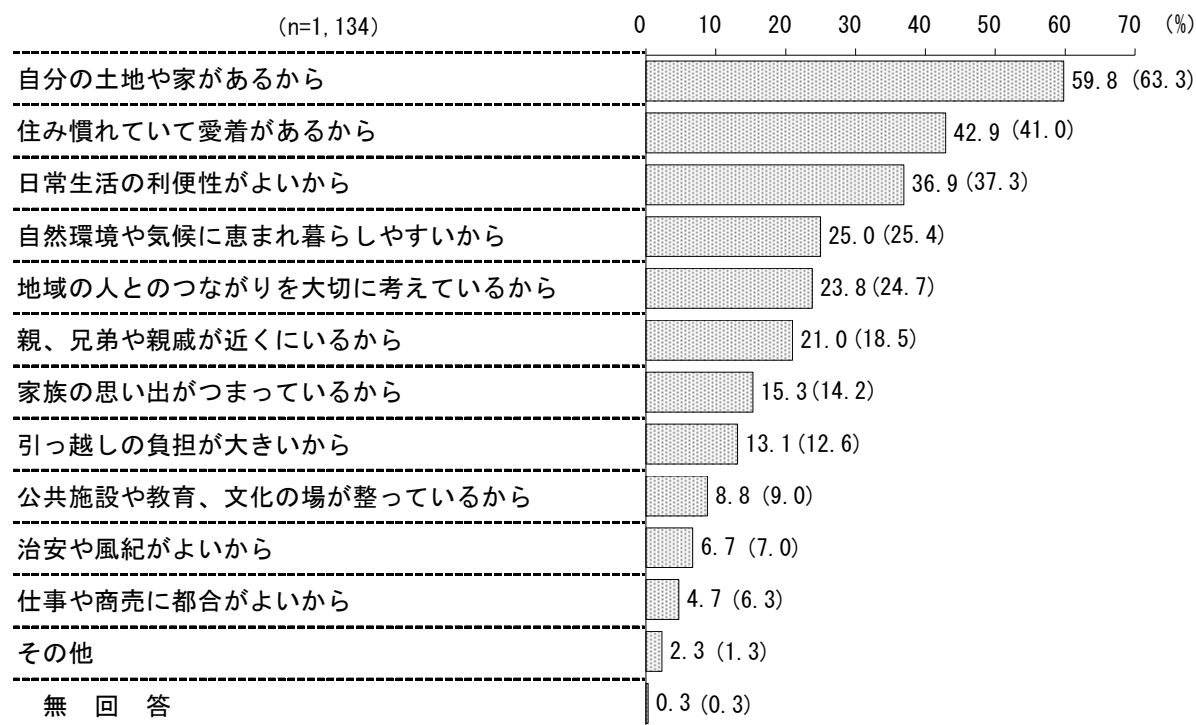
◇「自分の土地や家があるから」が約6割

(問1で「住み続けたい」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(〇は3つまで)

<図表1-4>住み続けたい理由(複数回答)



注) ( ) の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,116

「住み続けたい」と回答した1,134人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(59.8%)が約6割で最も多く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(42.9%)、「日常生活の利便性がよいから」(36.9%)が続く。(図表1-4)

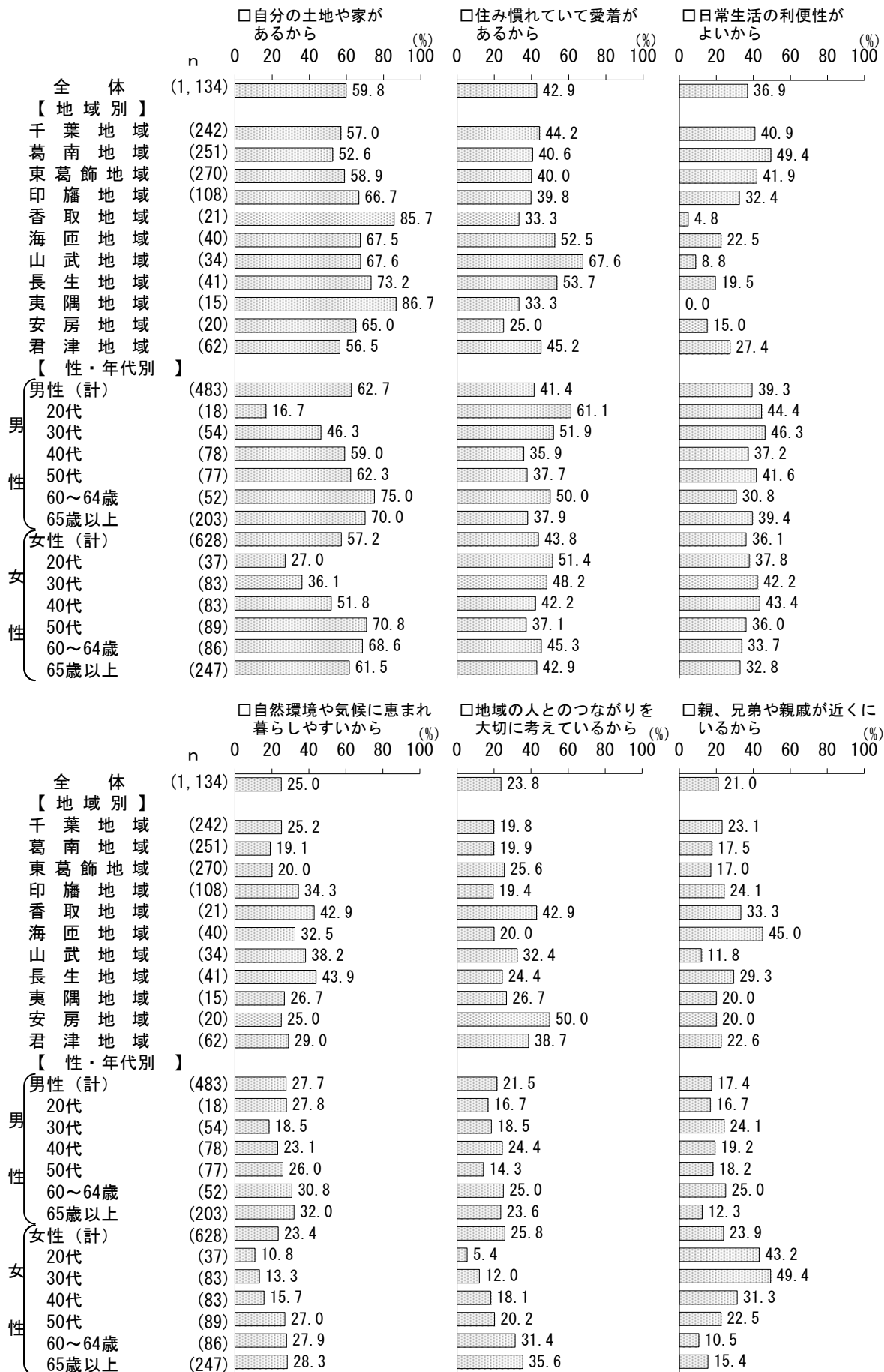
### 【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“夷隅地域”(86.7%)、“香取地域”(85.7%)が8割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は“山武地域”(67.6%)が約7割、「日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(49.4%)が約5割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1-5)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の60~64歳(75.0%)が7割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は男性の20代(61.1%)が6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-5)

<図表1-5> 住み続けたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



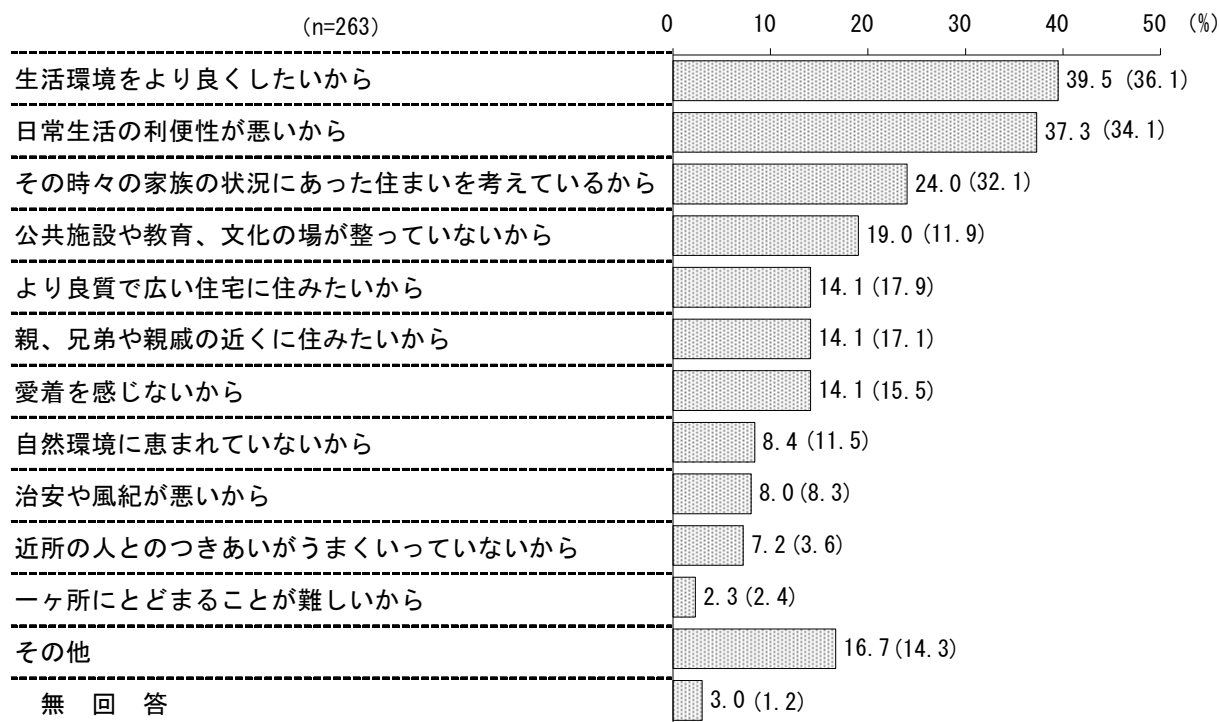
## (1-2) 移りたい理由

◇「生活環境をより良くしたいから」が約4割

(問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわな  
いが移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

<図表1-6>移りたい理由(複数回答)



注) ( ) の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n=252

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわな  
いが移りたい」と回答した263人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境を  
より良くしたいから」(39.5%)が約4割と最も高く、以下、「日常生活の利便性が悪いから」(37.3%)、  
「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」(24.0%)が続く。(図表1-6)

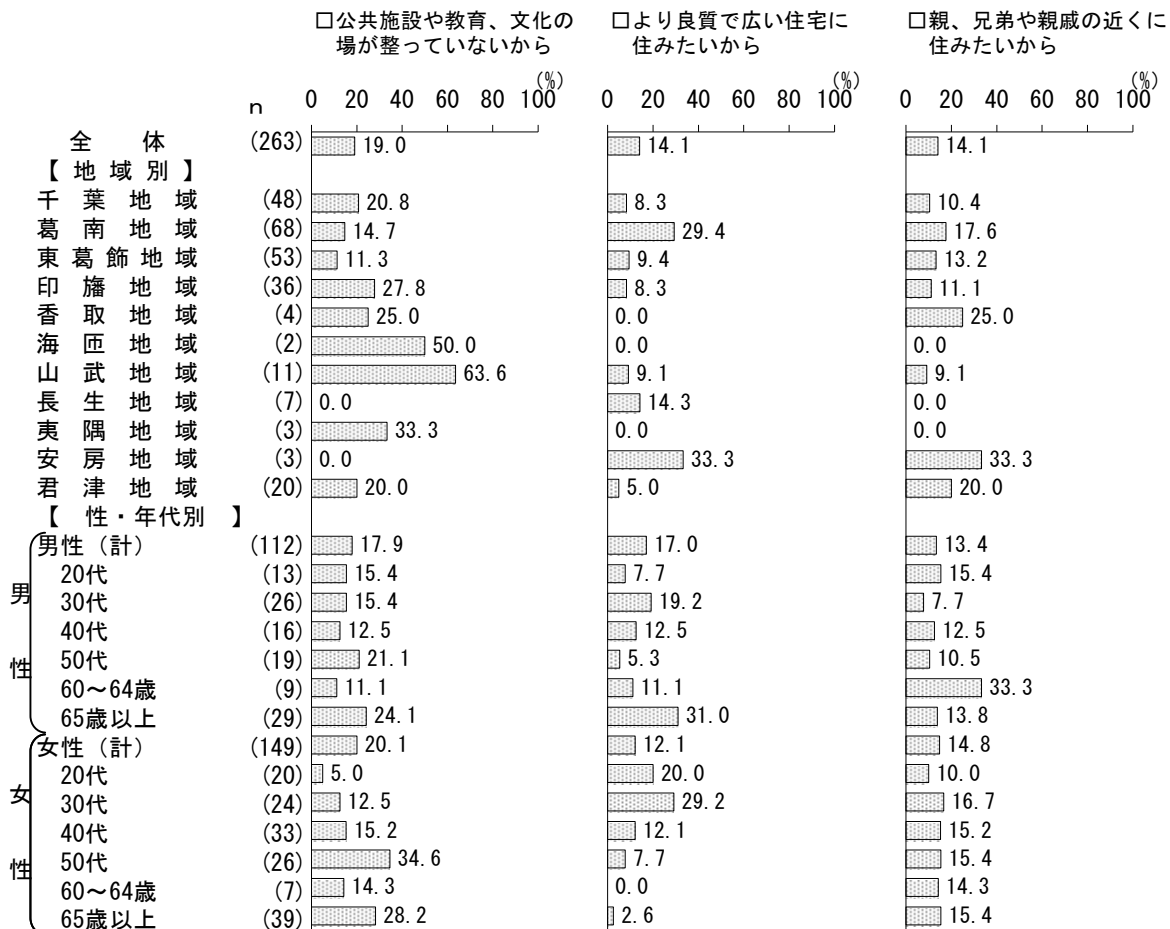
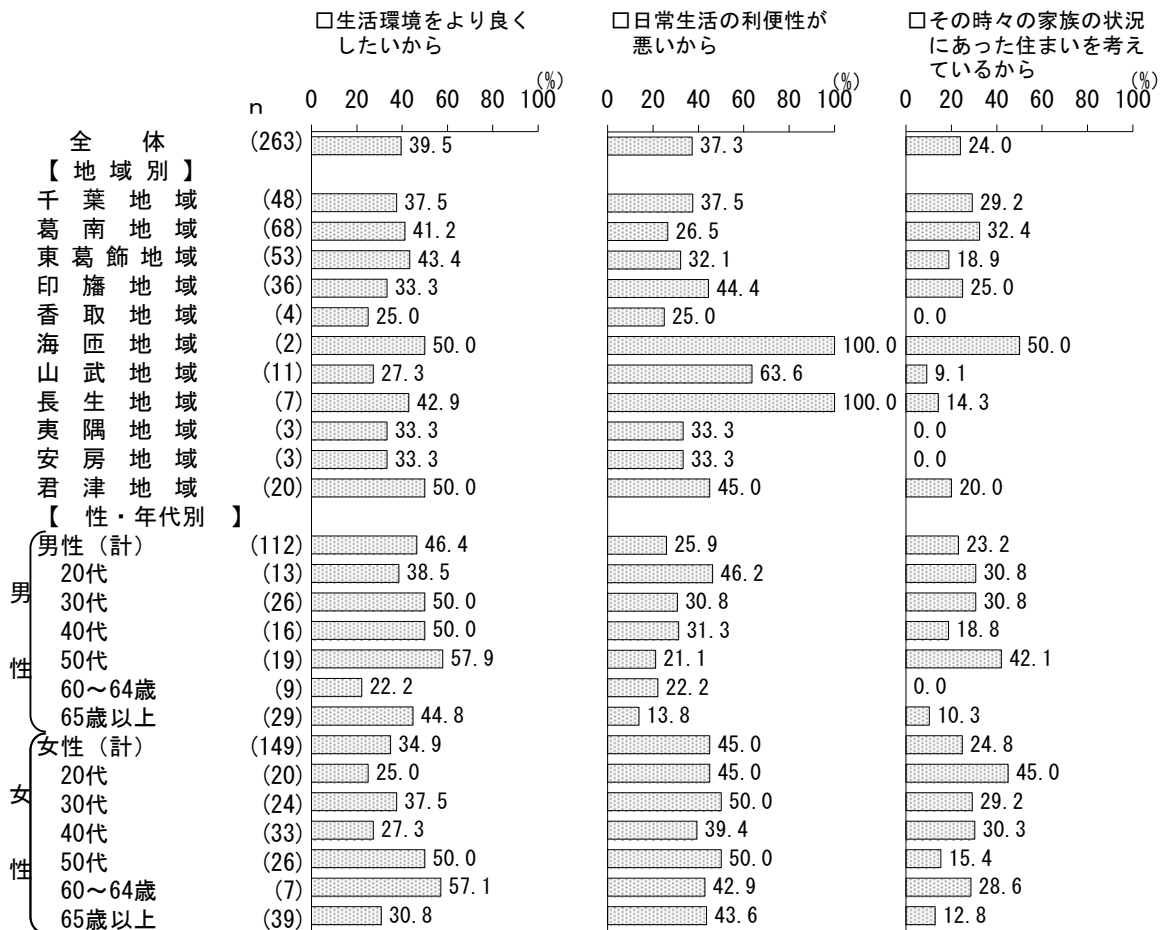
### 【地域別】

地域別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は“君津地域”(50.0%)が5割、“東葛飾地  
域”(43.4%)が4割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-7)

### 【性・年代別】

性別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は男性の方が高くなっている。(図表1-7)

<図表1-7> 移りたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



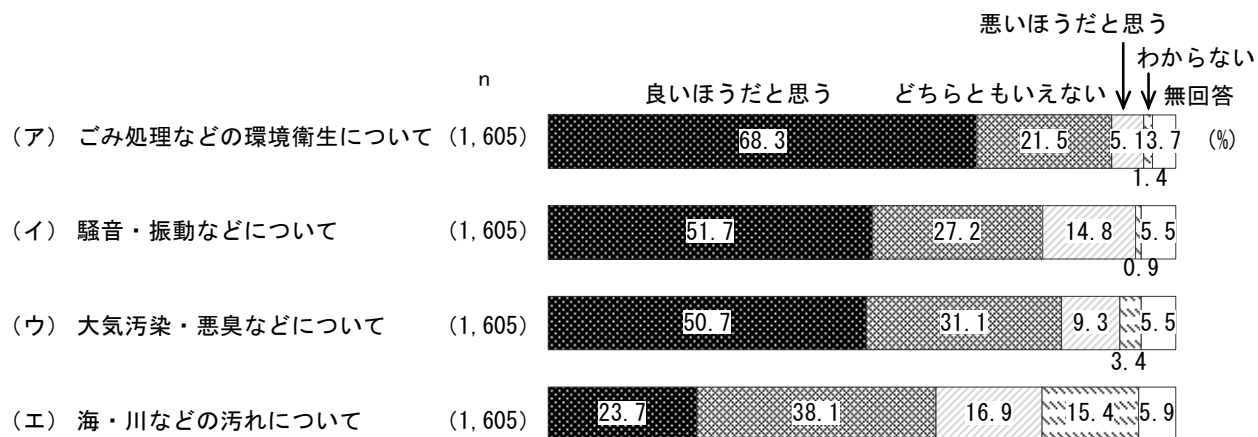
## (2) 生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉で約7割

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

＜図表1-8＞生活環境について



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉(68.3%)で約7割、以下〈騒音・振動などについて〉(51.7%)、〈大気汚染・悪臭などについて〉(50.7%)が5割となっている。一方、〈海・川などの汚れについて〉は、「良いほうだと思う」(23.7%)と「悪いほうだと思う」(16.9%)の差がわずかとなっている。(図表1-8)

### 【地域別】

地域別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は、“君津地域”(76.9%)、“葛南地域”(74.0%)が7割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。〈騒音・振動などについて〉においては、“長生地域”(61.5%)、“安房地域”(60.7%)が6割を超えて高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉においては、“安房地域”(75.0%)が7割台半ば、〈海・川などの汚れについて〉においても、“安房地域”(50.0%)が5割と他の地域に比べて高くなっている。(図表1-9)

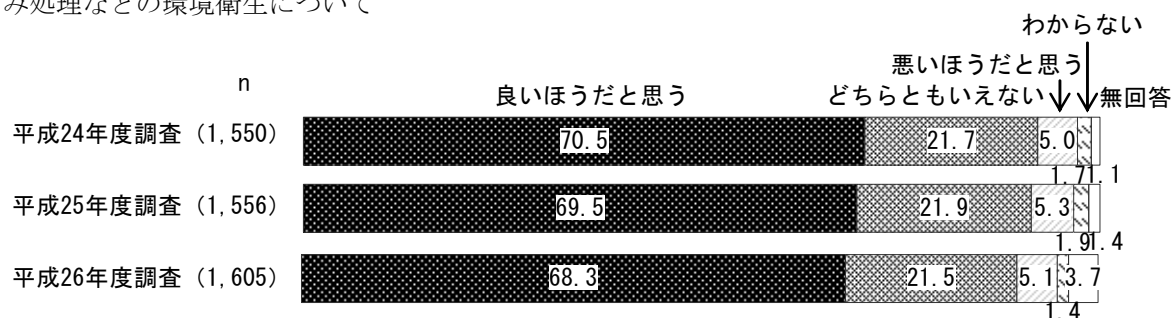
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳(75.7%)、男性の65歳以上(74.8%)、女性の60～64歳(75.2%)、女性の65歳以上(74.7%)が7割台半ばで、他の年代に比べて高くなっている。〈騒音・振動などについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(59.2%)と女性の50代(58.6%)が約6割となっている。〈海・川などの汚れについて〉において、「悪いほうだと思う」は男性の20代(30.2%)が3割、女性の20代(33.3%)が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1-9)

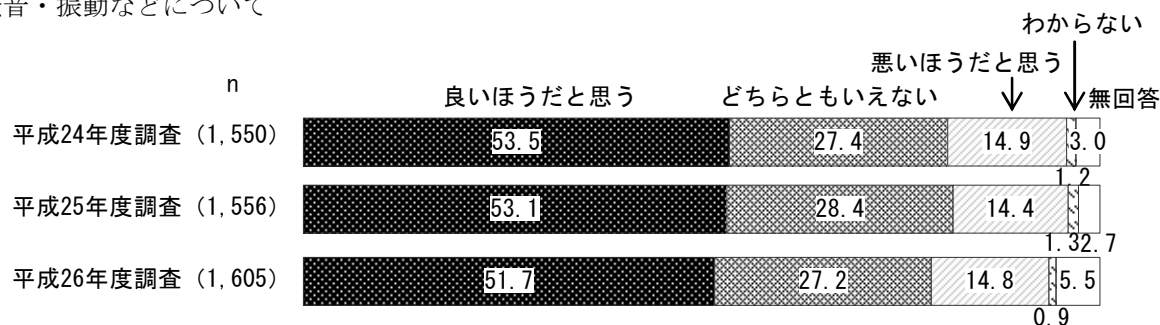


〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

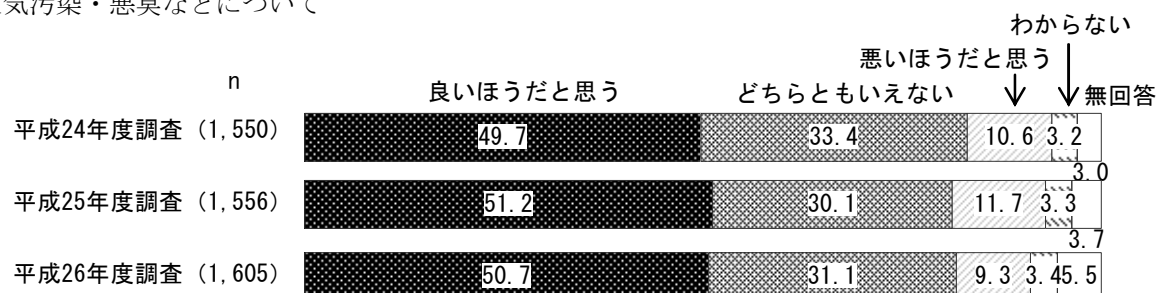
(ア) ごみ処理などの環境衛生について



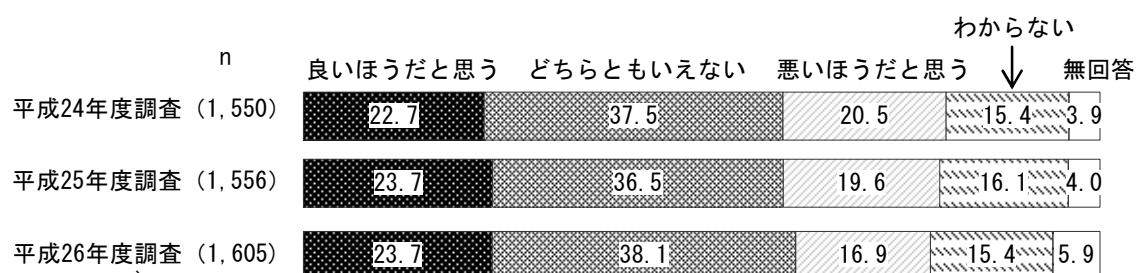
(イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

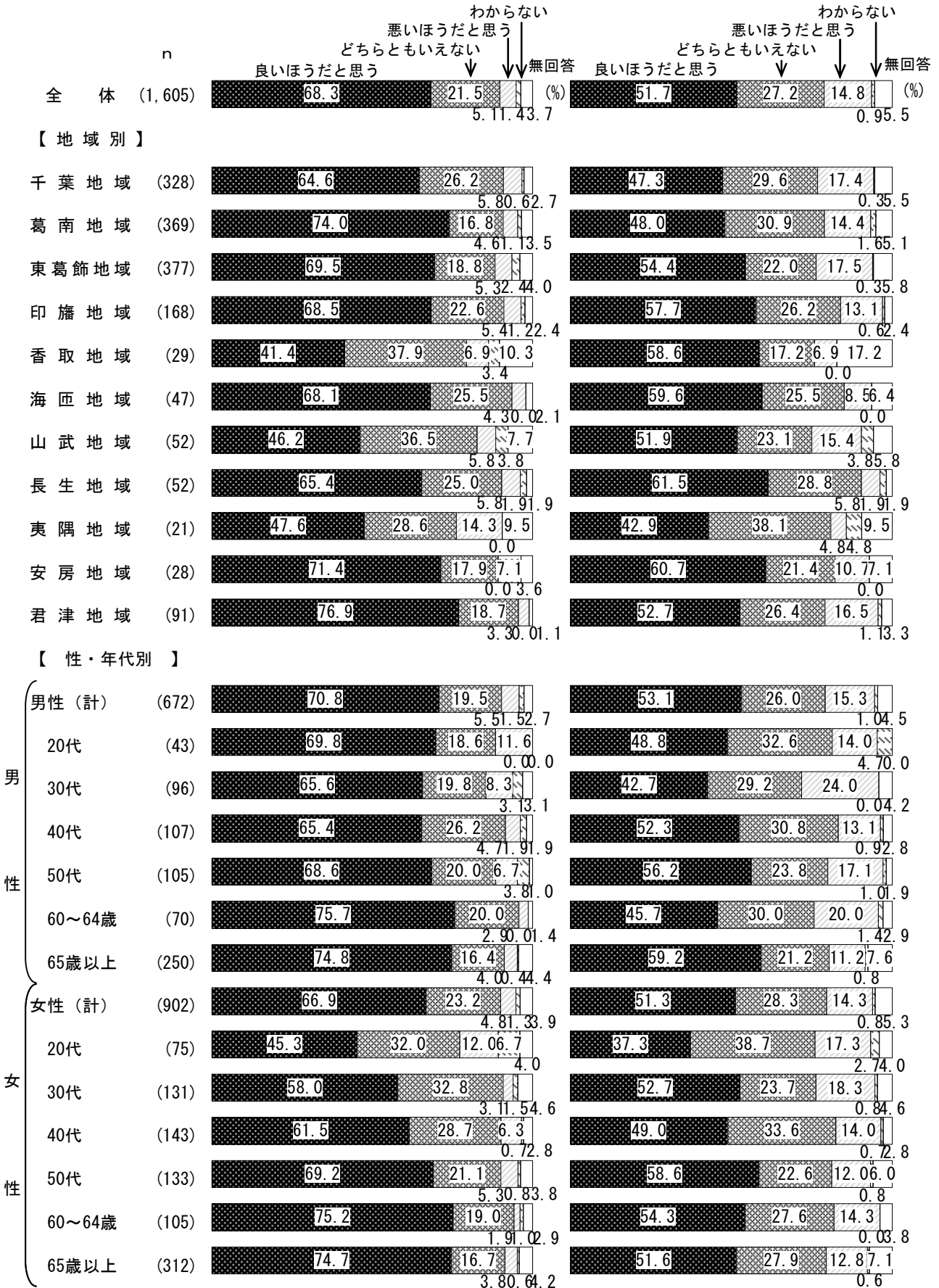


(エ) 海・川などの汚れについて



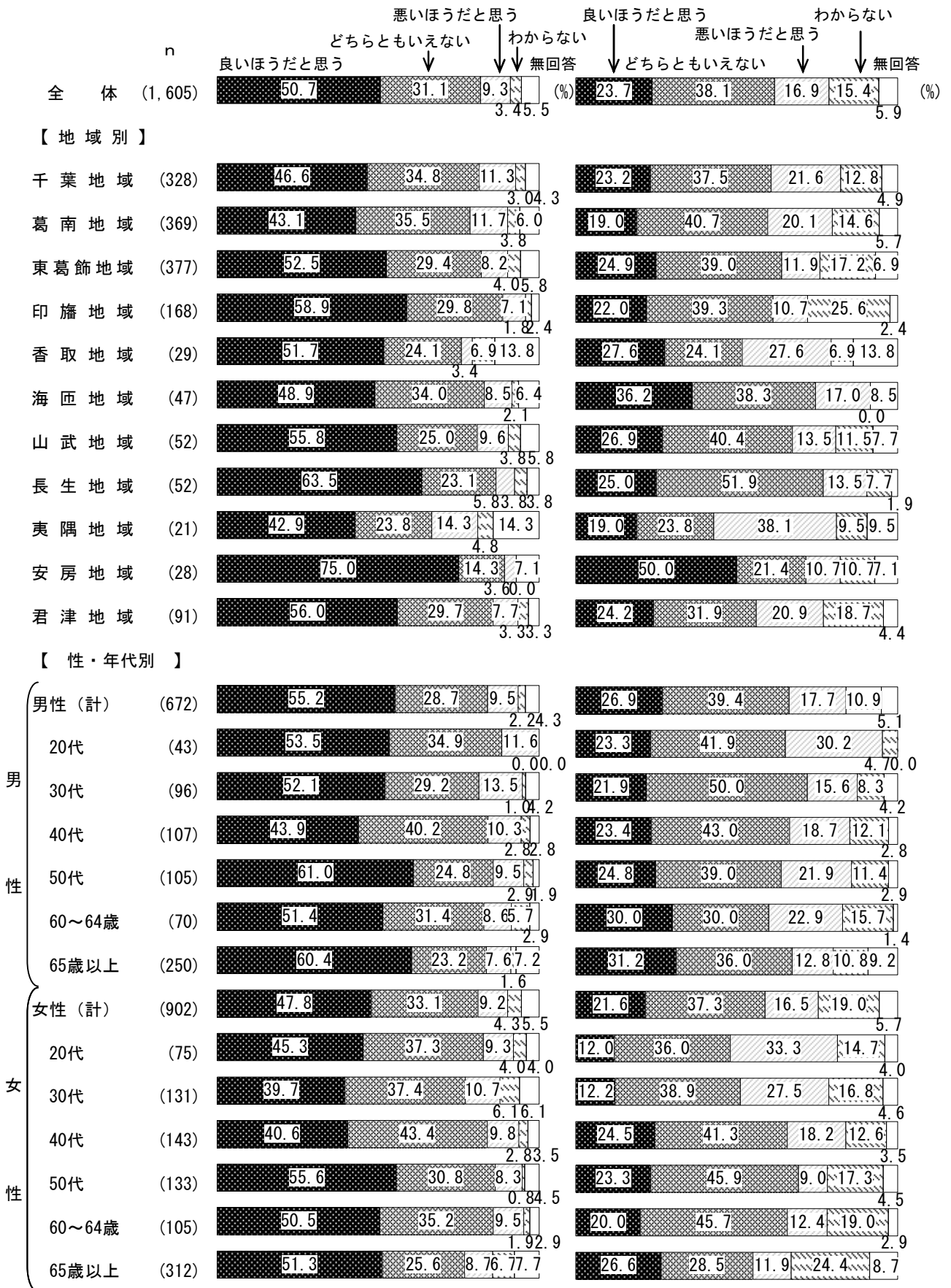
<図表1-9>生活環境について/地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

(エ) 海・川などの汚れについて

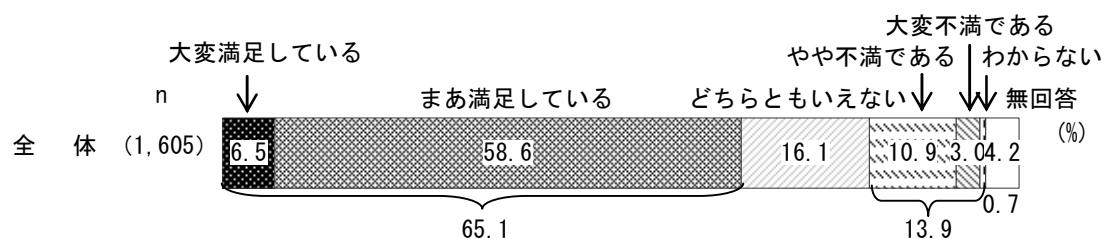


### (3) 生活環境全般の満足度

◇『満足している』は6割台半ば

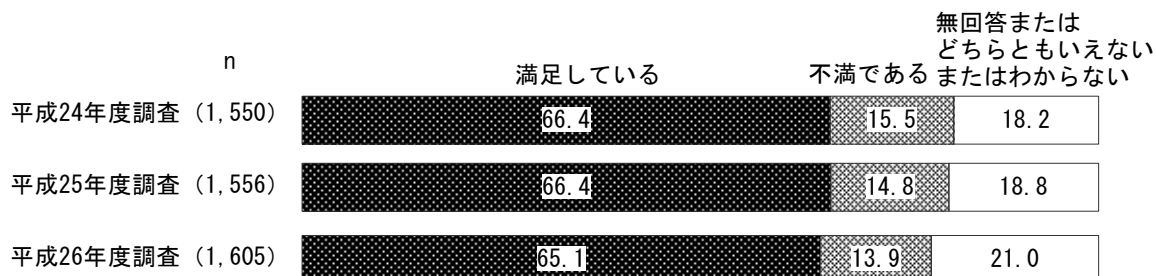
問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般について満足していますか。  
(○は1つ)

<図表1-10>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(6.5%)と「まあ満足している」(58.6%)を合わせた『満足している』(65.1%)は6割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(10.9%)と「大変不満である」(3.0%)を合わせた『不満である』(13.9%)は1割台半ばとなっている。(図表1-10)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



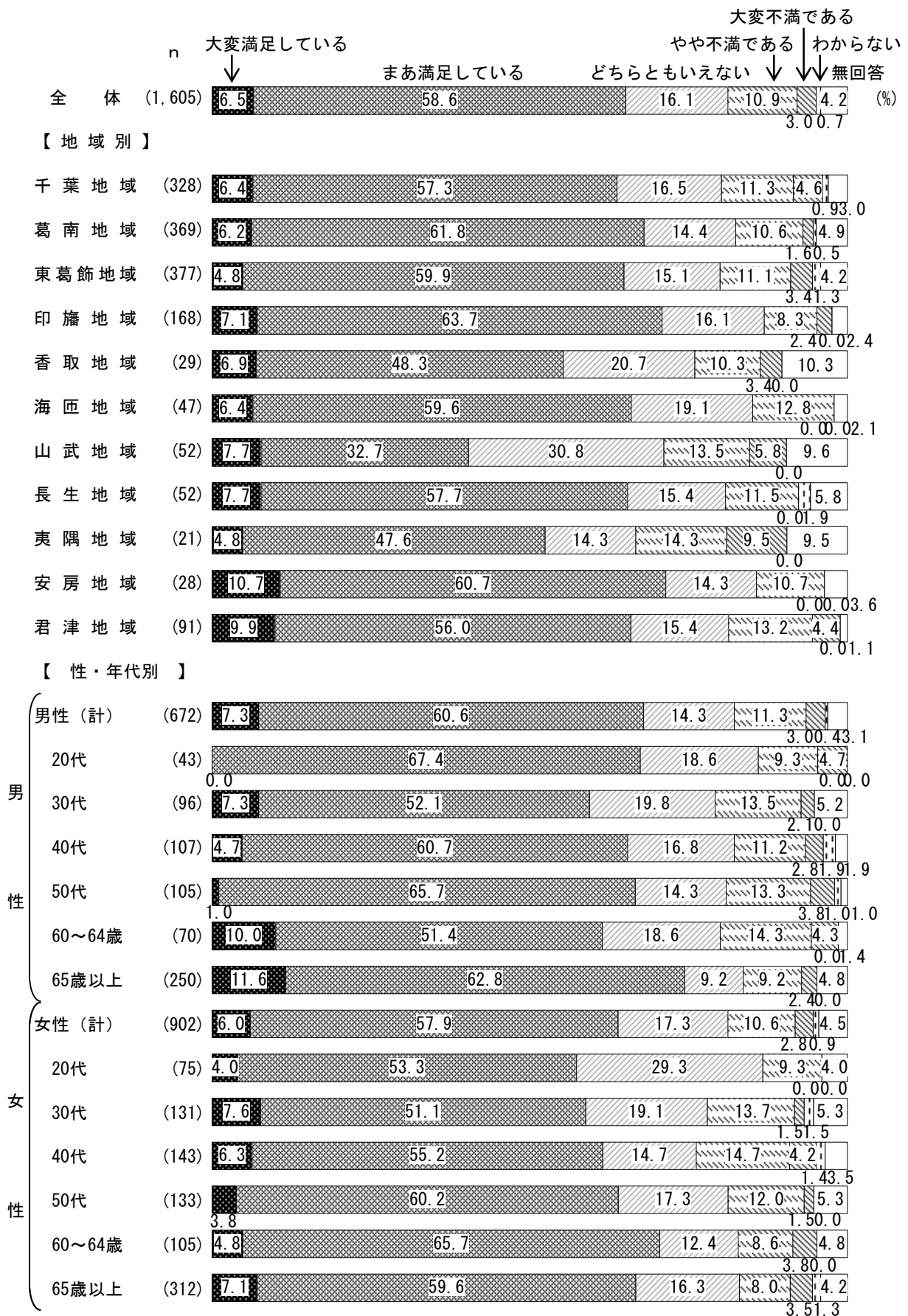
#### 【地域別】

地域別にみると、『満足している』は、“安房地域”(71.4%)が7割を超え、“印旛地域”(70.8%)が7割と他の地域に比べて高くなっている。一方、“山武地域”(40.4%)で4割に留まっている。(図表1-11)

#### 【性・年代別】

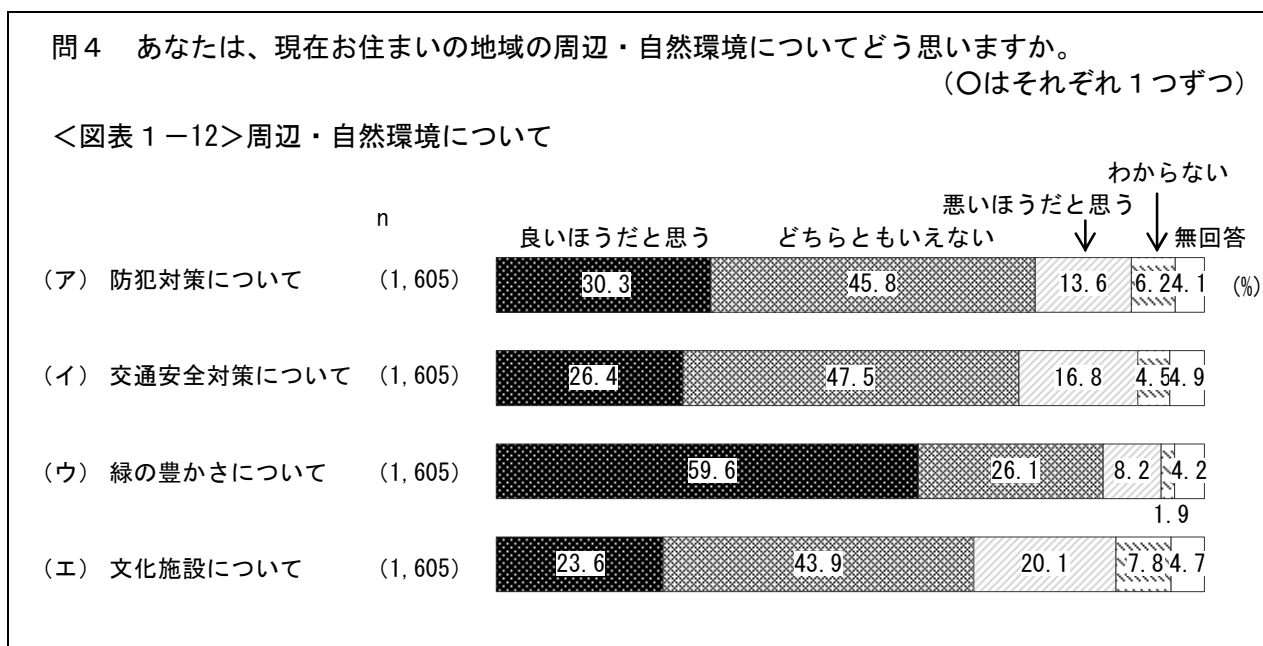
性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(74.4%)が7割台半ば、女性の60～64歳(70.5%)が7割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-11)

<図表 1-11> 生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別



#### (4) 周辺・自然環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉で約6割



周辺・自然環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉(59.6%)が約6割となっており、以下、〈防犯対策について〉(30.3%)、〈交通安全対策について〉(26.4%)が続いている。(図表1-12)

##### 【地域別】

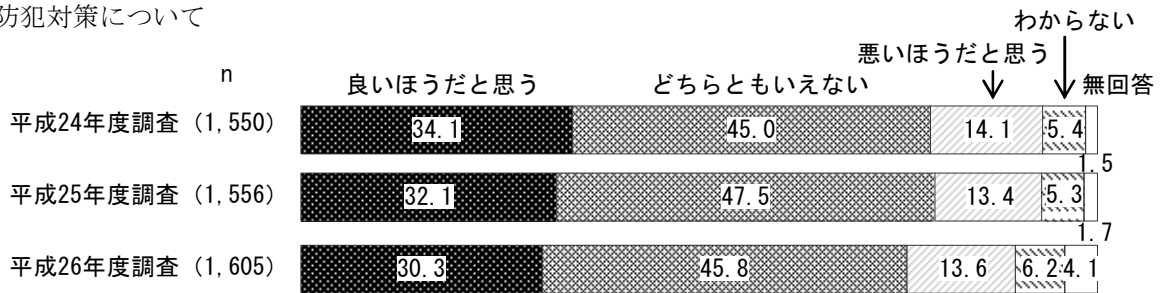
地域別にみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(46.4%)が4割台半ば、“海匝地域”(42.6%)が4割を超えて他の地域に比べて高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(42.9%)が4割を超えて高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(82.1%)が8割を超えて高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(29.2%)が約3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表1-13)

##### 【性・年代別】

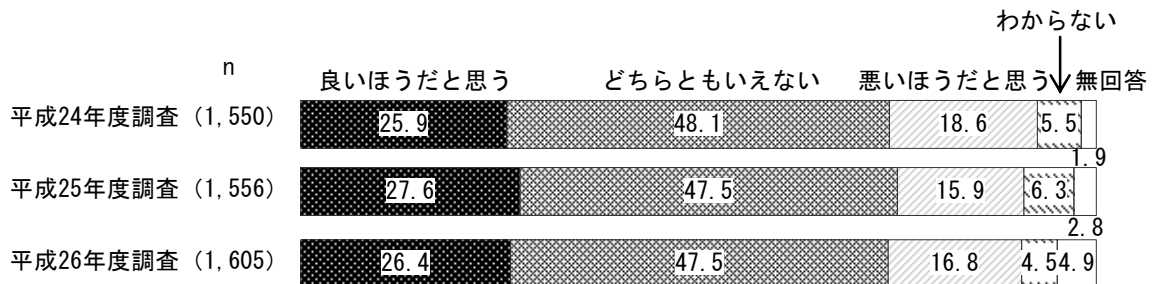
性・年代別でみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(42.4%)が4割を超えて高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は、男性の65歳以上(35.2%)、女性の65歳以上(34.3%)が3割台半ばで高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の60~64歳(70.0%)が7割と高く、〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は女性の50代(27.1%)が約3割と他の年代に比べて幾分高くなっている。(図表1-13)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

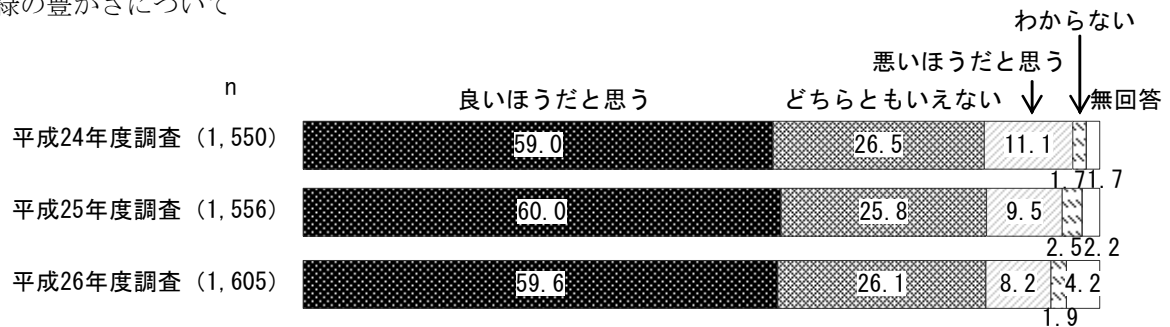
(ア) 防犯対策について



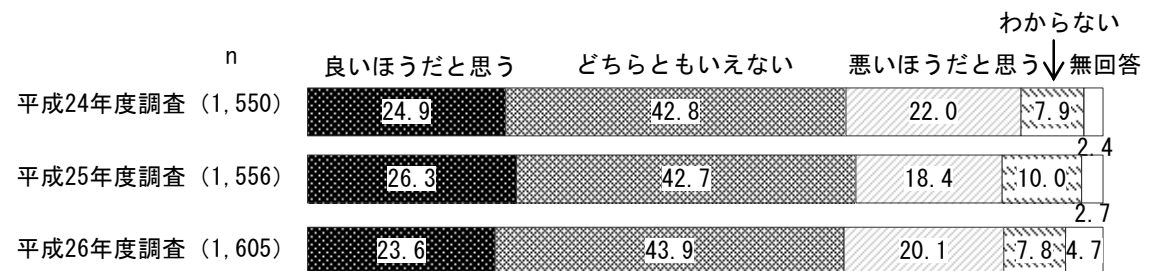
(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて



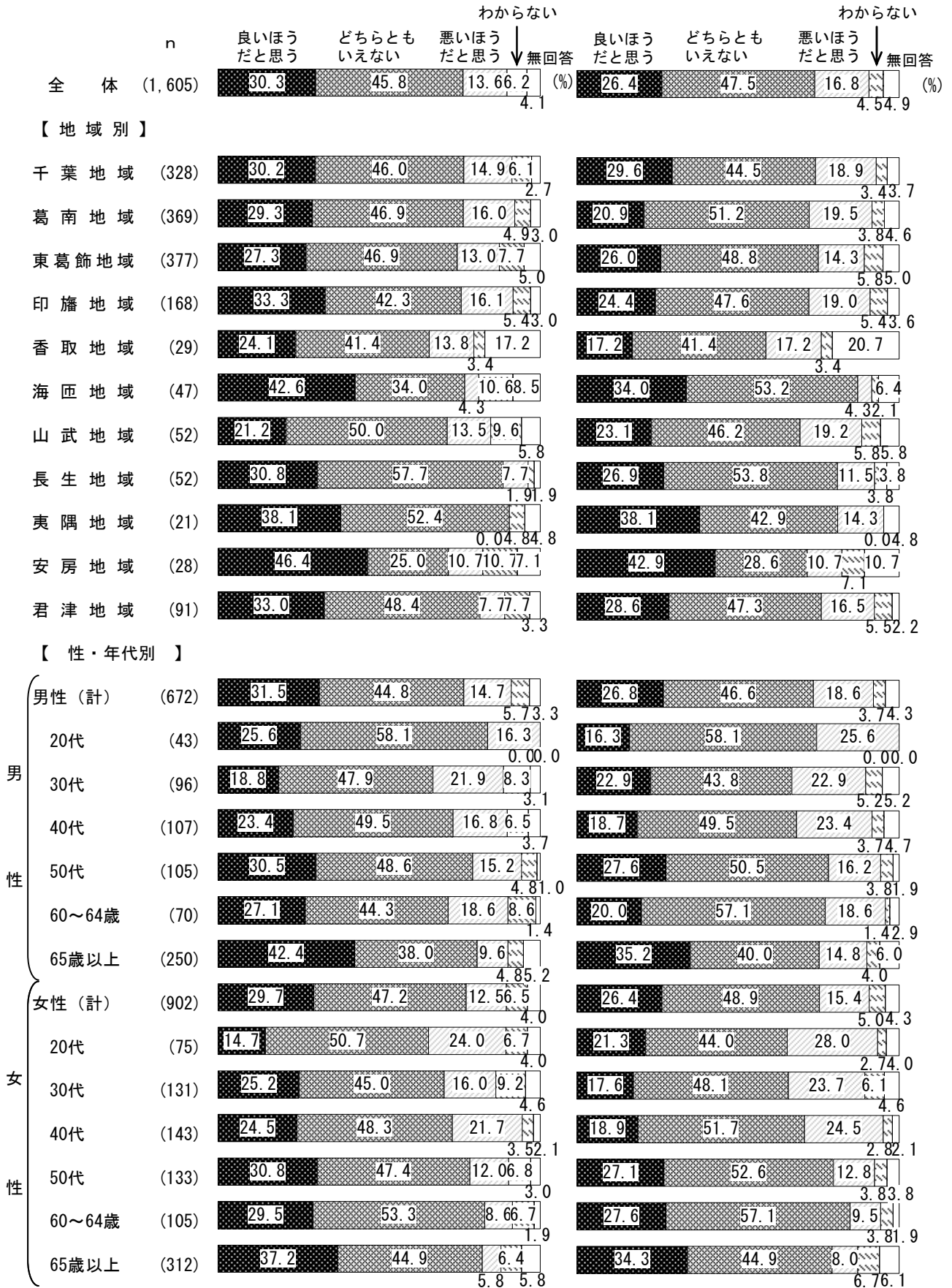
(エ) 文化施設について



<図表 1-13> 周辺・自然環境について／地域別、性・年代別

(ア) 防犯対策について

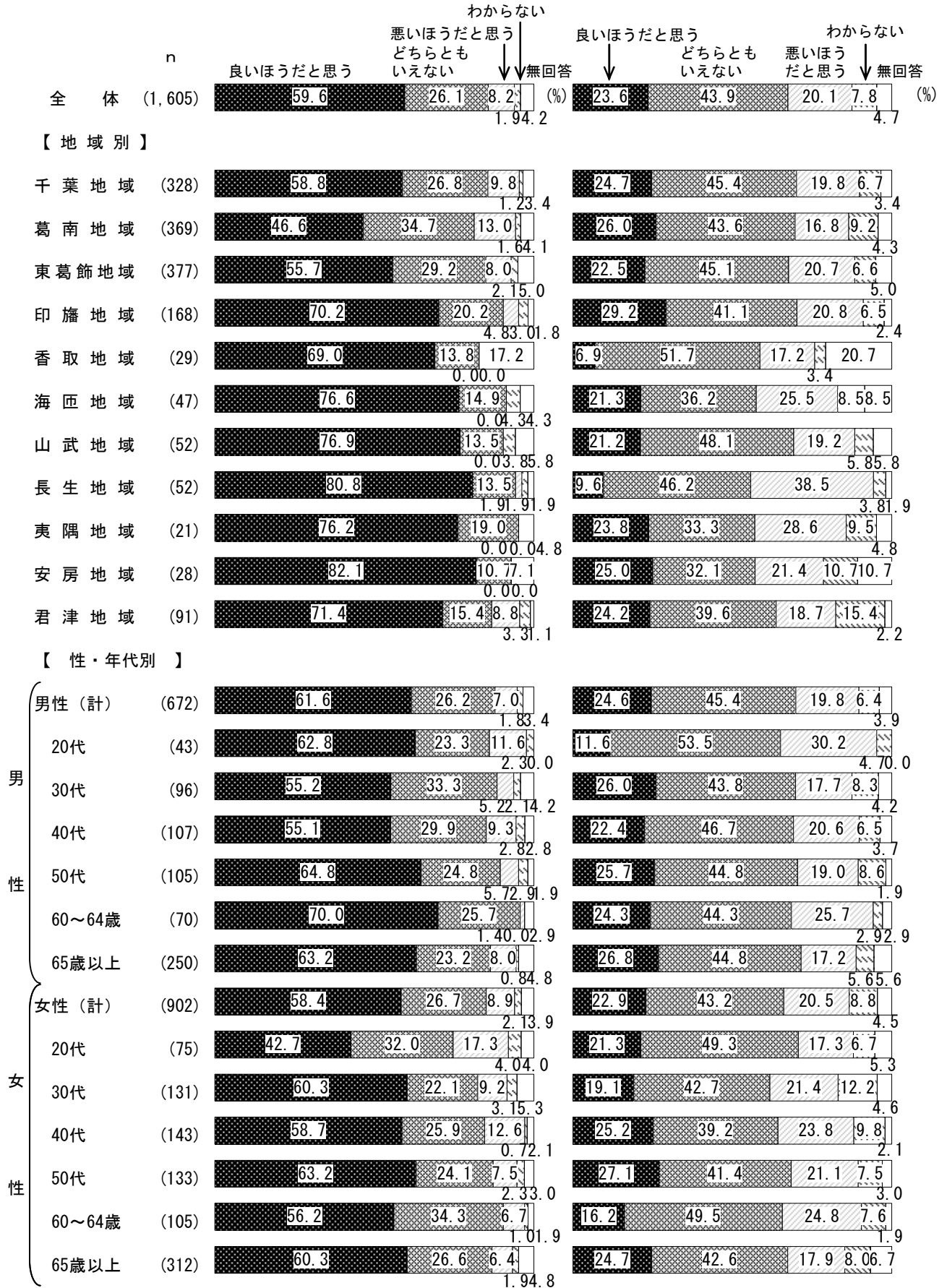
(イ) 交通安全対策について





(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

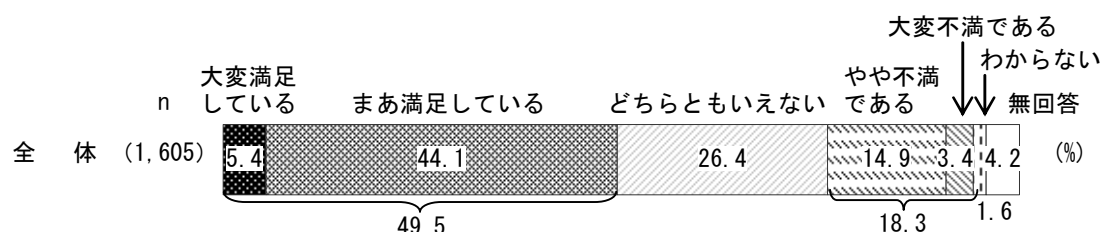


## (5) 周辺・自然環境全般の満足度

◇『満足している』は約5割

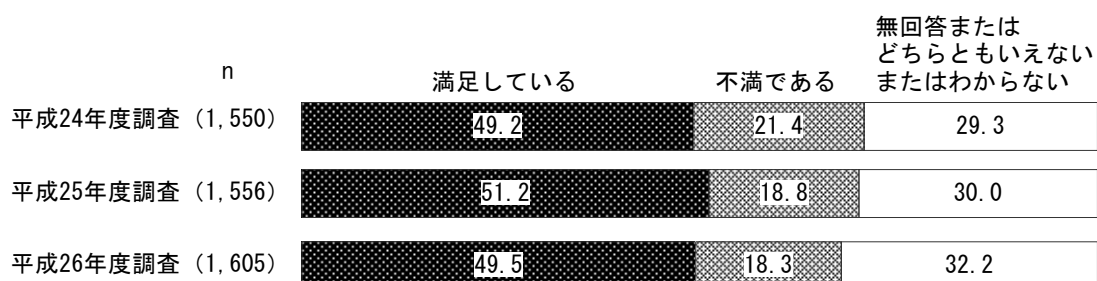
問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような周辺・自然環境全般について満足していますか。(○は1つ)

<図表1-14>周辺・自然環境全般の満足度



周辺・自然環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.4%)と「まあ満足している」(44.1%)を合わせた『満足している』(49.5%)は約5割である。一方、「やや不満である」(14.9%)と「大変不満である」(3.4%)を合わせた『不満である』(18.3%)は約2割となっている。(図表1-14)

〔参考〕平成24年度・平成25年度調査の同様の項目による調査結果との比較



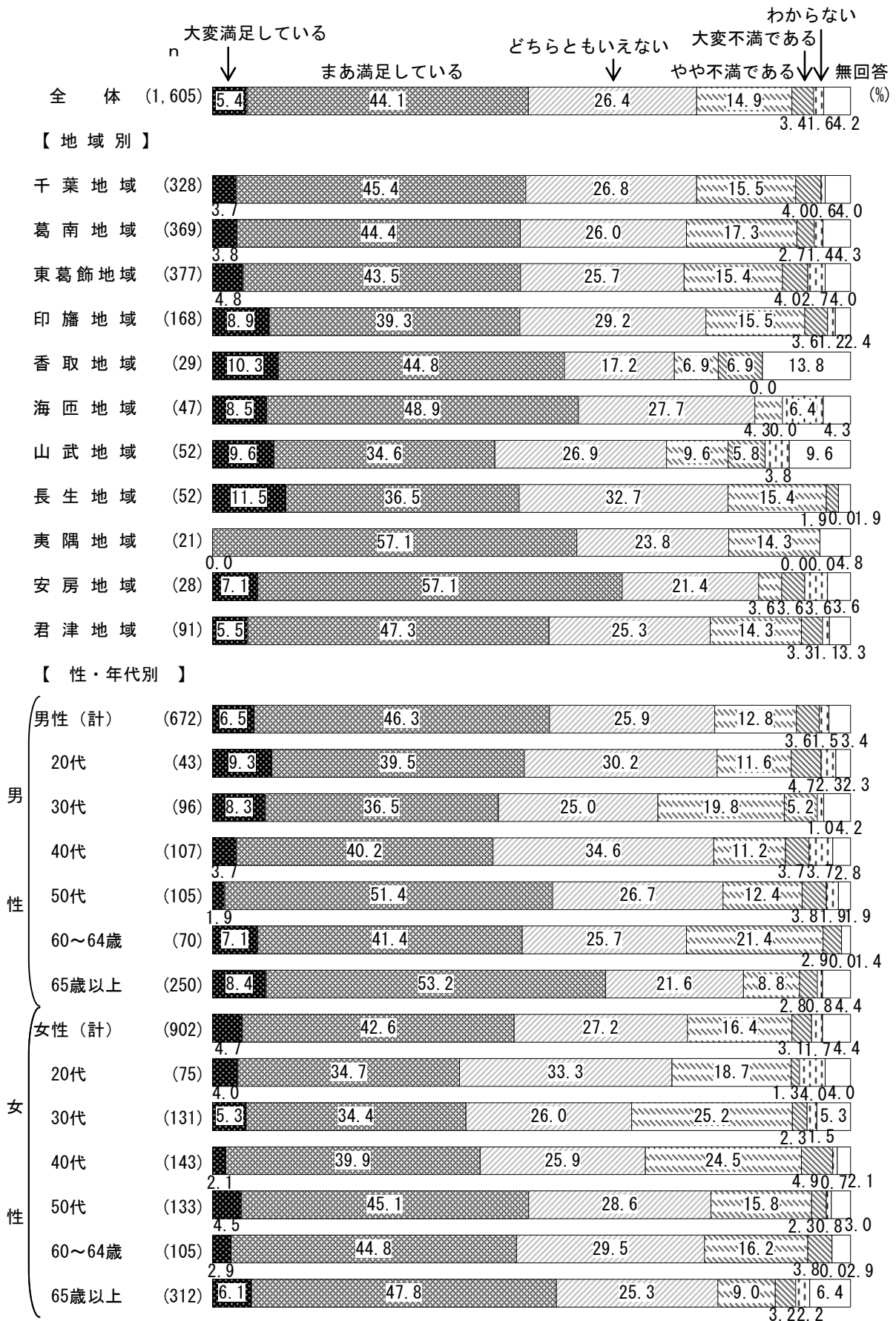
### 【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“安房地域”(64.3%)が6割台半ば、“海匝地域”(57.4%)、“夷隅地域”(57.1%)が約6割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1-15)

### 【性・年代別】

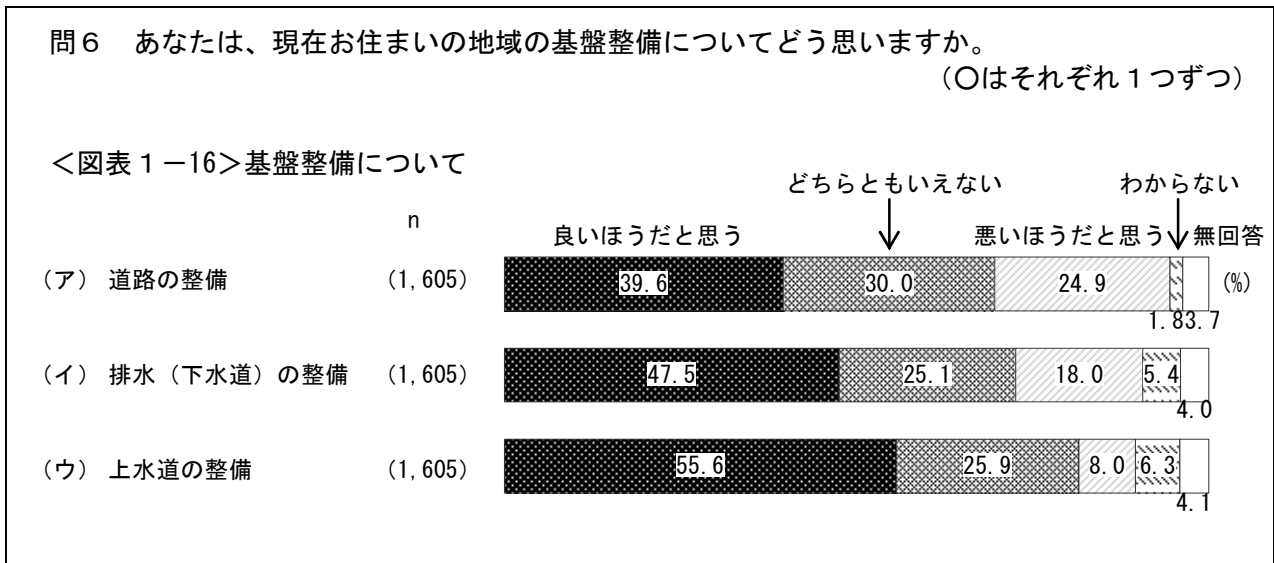
性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(61.6%)が6割を超え、男性の50代(53.3%)、女性の65歳以上(53.8%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表1-15)

<図表 1-15> 周辺・自然環境全般の満足度／地域別、性・年代別



## (6) 基盤整備について

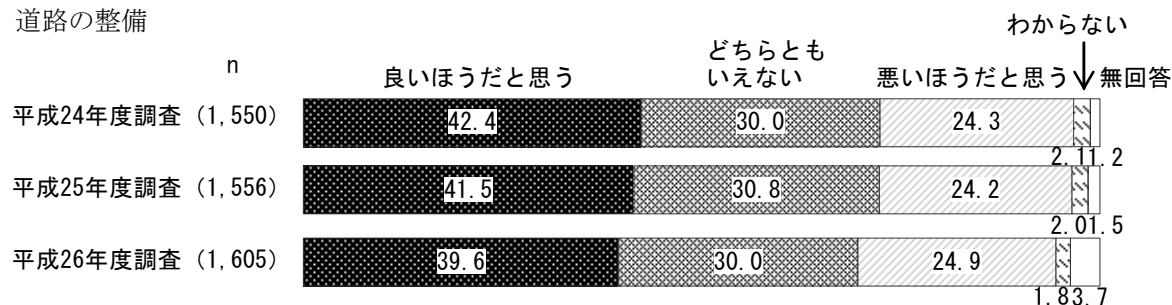
◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈上水道の整備〉で5割台半ば



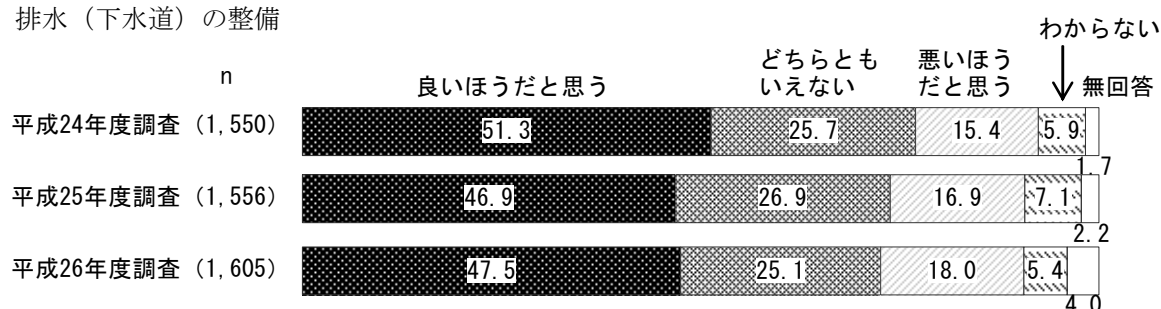
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(55.6%)で5割台半ばとなっている。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(47.5%)が約5割、〈道路の整備〉(39.6%)が約4割となっている。(図表1-16)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

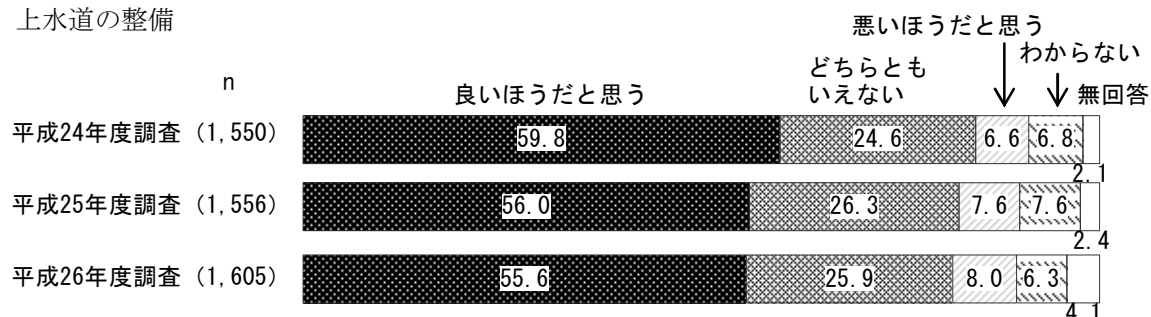
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



【地域別】

地域別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（48.2％）が約5割、「悪いほうだと思う」は“山武地域”（36.5％）が3割台半ばで最も高い。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（56.7％）が5割台半ば、「悪いほうだと思う」は“山武地域”（48.1％）が約5割で最も高い。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（60.1％）が6割で、「悪いほうだと思う」は“山武地域”（26.9％）が2割台半ばで最も高くなっている。（図表1-17）

【性・年代別】

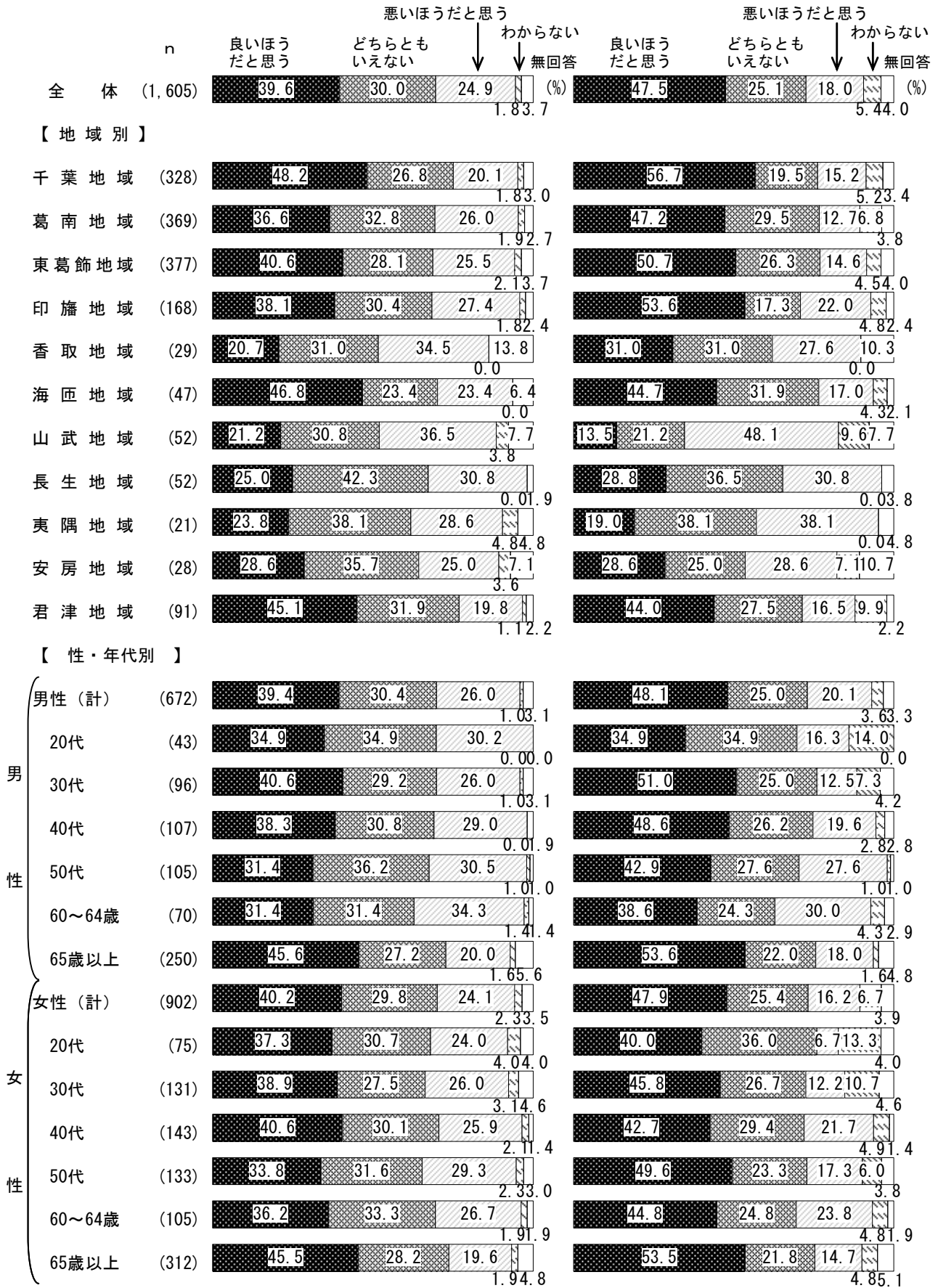
性・年代別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（45.6％）、女性の65歳以上（45.5％）が4割台半ばと高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の60

～64歳（34.3%）が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（53.6%）、女性の65歳以上（53.5%）が5割台半ばと高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（64.0%）が6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。（図表1-17）

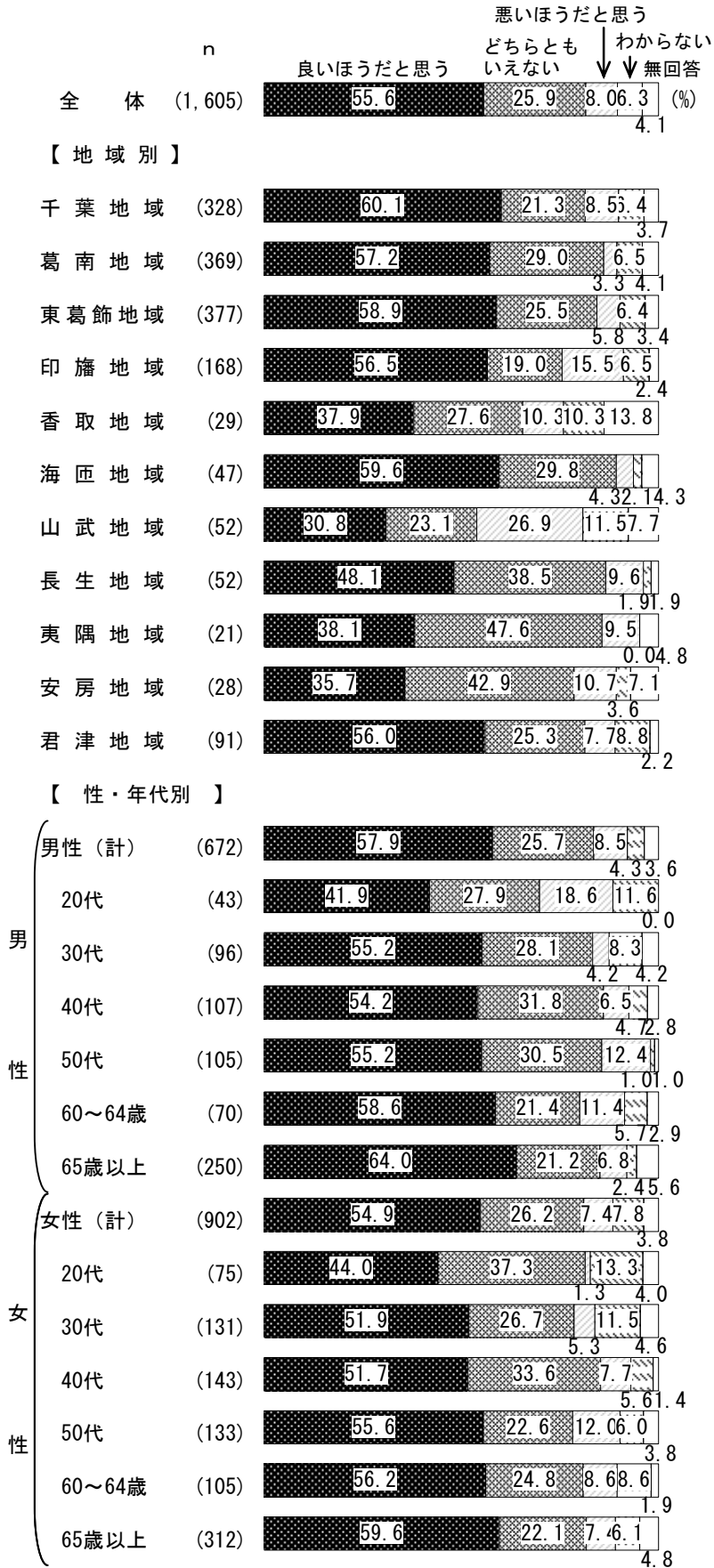
<図表1-17> 基盤整備について/地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ) 排水(下水道)の整備



(ウ) 上水道の整備



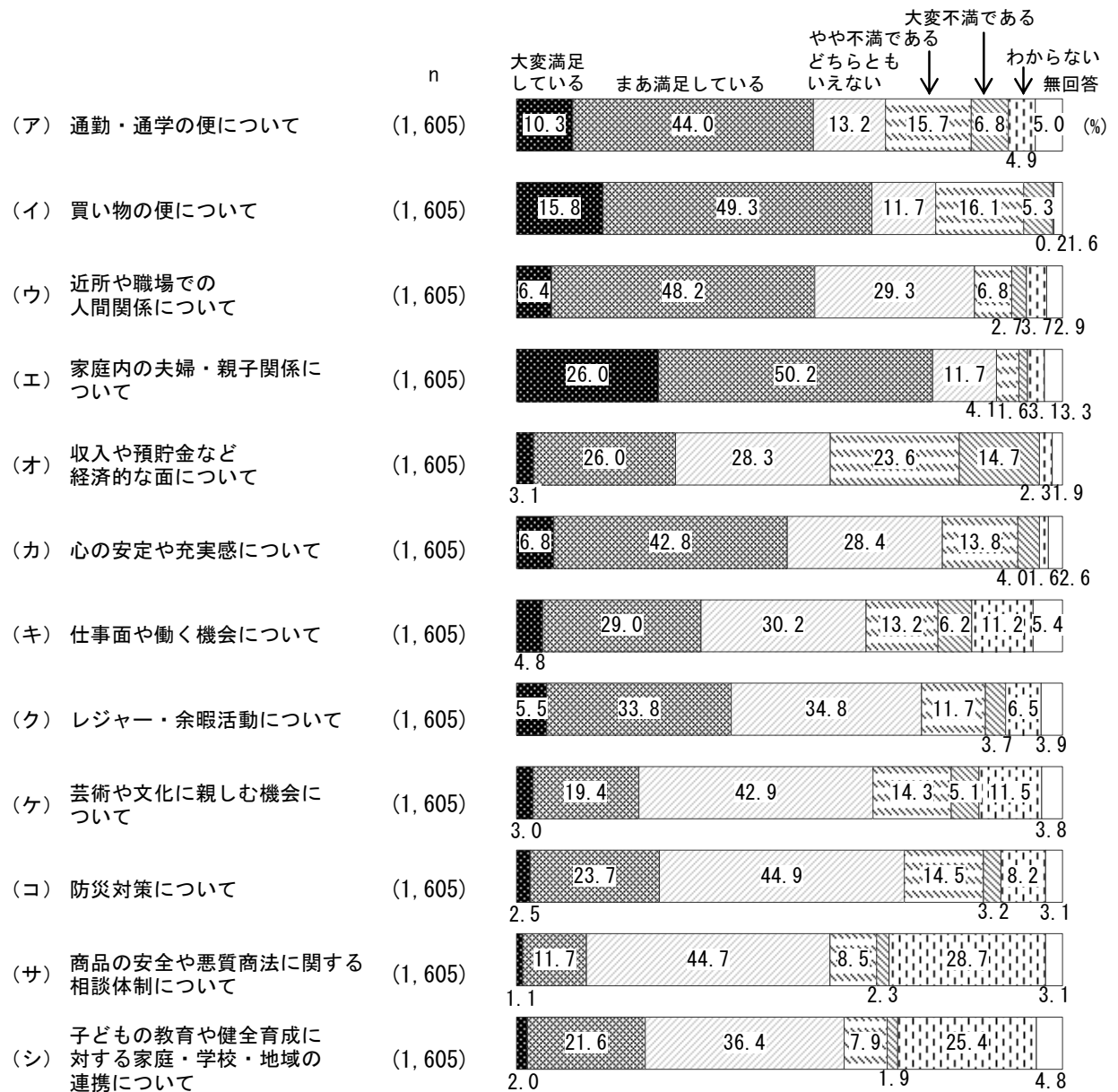


## (7) 現在の生活の満足度

◇『満足している』が最も高いのは〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で7割台半ば

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

〈図表1-18〉現在の生活の満足度

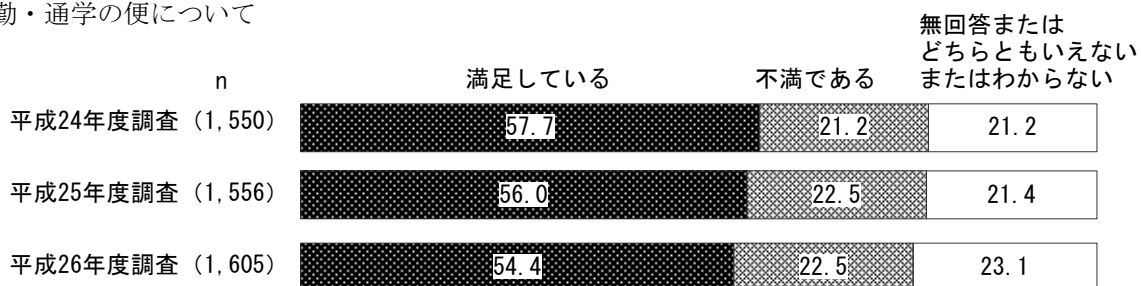


現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(76.2%)で7割台半ばとなっている。以下、〈買い物の便について〉(65.0%)、〈近所や職場での人間関係について〉(54.6%)、〈通勤・通学の便について〉(54.4%)と続く。

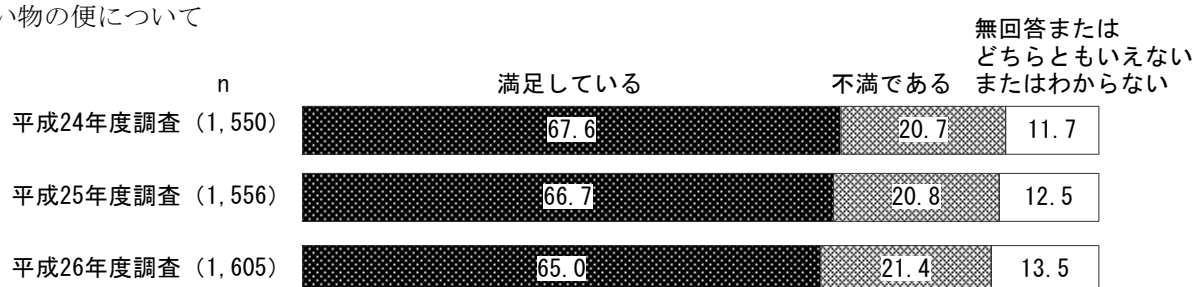
一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせた『不満である』の割合は、〈収入や預貯金など経済的な面について〉(38.3%)が約4割となっており、12個の項目でこの〈収入や預貯金など経済的な面について〉のみ、『不満である』が『満足している』を上回っている。(図表1-18)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

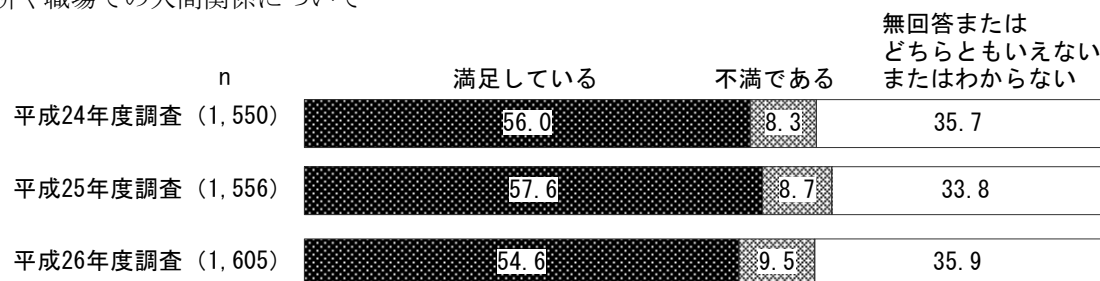
(ア) 通勤・通学の便について



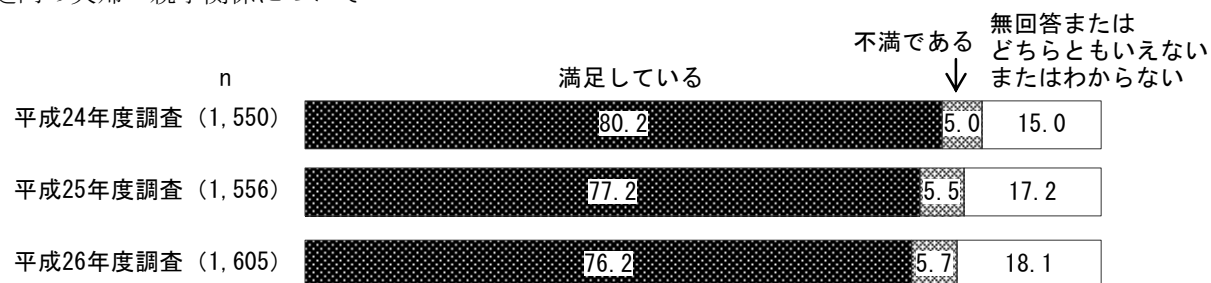
(イ) 買い物の便について



(ウ) 近所や職場での人間関係について

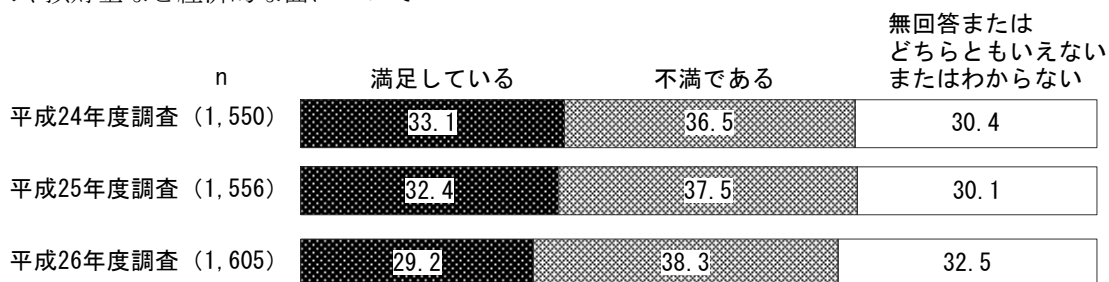


(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について

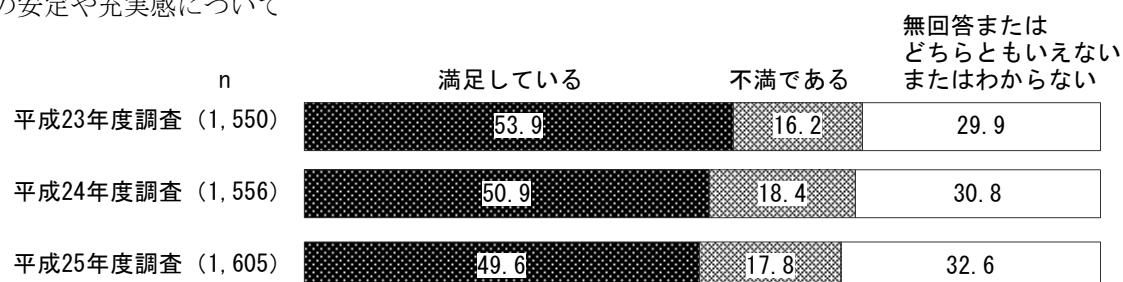


〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

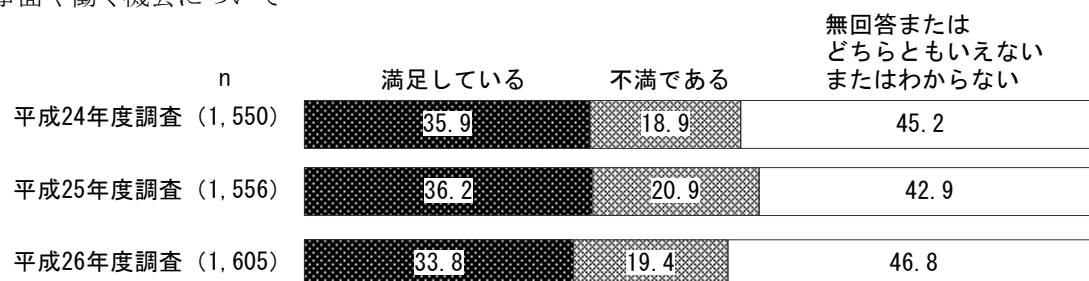
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について



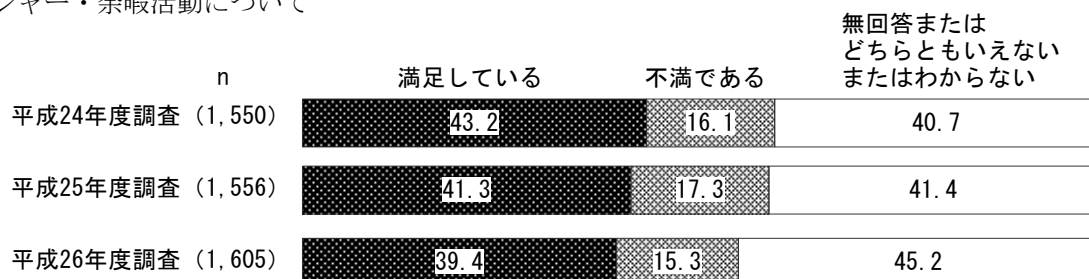
(カ) 心の安定や充実感について



(キ) 仕事面や働く機会について



(ク) レジャー・余暇活動について



〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査 (1,550)	25.4	22.2	52.4
平成25年度調査 (1,556)	24.1	21.1	54.8
平成26年度調査 (1,605)	22.4	19.4	58.2

(サ) 商品の安全や悪質商法に関する相談体制について

n	満足している	不満である ↓	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査 (1,550)	12.9	11.0	76.1
平成25年度調査 (1,556)	13.9	11.8	74.2
平成26年度調査 (1,605)	12.7	10.8	76.5

(シ) 子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査 (1,550)	26.5	12.9	60.7
平成25年度調査 (1,556)	26.2	10.3	63.6
平成26年度調査 (1,605)	23.6	9.8	66.6

\* (コ) 「防災対策について」は今年度調査から聴取しているため、同様の項目による比較はなし。

## 【地域別】

地域別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（66.7%）が6割台半ばとなっている。一方、『不満である』は“山武地域”（53.8%）が5割台半ば、“夷隅地域”（47.6%）が約5割で高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（77.2%）が約8割となっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”（61.9%）が6割を超えて高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は“海匝地域”（61.7%）が6割を超えて、“安房地域”（60.7%）が6割と高くなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は“長生地域”（86.5%）が8割台半ば、“海匝地域”（78.7%）、“印旛地域”（78.0%）、“葛南地域”（77.2%）で約8割と高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（38.1%）が約4割と高くなっている。一方、『不満である』は“安房地域”（50.0%）が5割、“山武地域”（46.2%）が4割台半ばと高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は“長生地域”（61.5%）が6割を超えて高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は“安房地域”（46.4%）が4割台半ばとなっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”（47.6%）で約5割と高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は“葛南地域”（46.1%）が4割台半ばと高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『不満である』は“山武地域”（34.6%）が3割台半ば、“海匝地域”（31.9%）、“香取地域”（31.0%）が3割を超えて高くなっている。

〈防災対策について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（42.9%）が4割を超えて高くなっている。多くの地域で「どちらともいえない」の割合が4割以上となっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（28.6%）が約3割と高くなっているが、全ての地域で「どちらともいえない」の割合が最も高い。

〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は“海匝地域”（34.0%）が3割台半ば、“長生地域”（32.7%）が3割を超えて高くなっている。（図表1-19）

## 【性・年代別】

性・年代別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は男性の40代（64.5%）、女性の40代（64.3%）が6割台半ばで高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は男性の65歳以上（70.8%）、女性の60～64歳（70.5%）が7割と高くなっている。一方で、『不満である』は男性の20代（32.6%）が3割を超えて高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は女性の60～64歳（63.8%）が6割台半ば、女性の30代（61.1%）が6割を超えて高くなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は女性の50代（82.0%）が8割を超えて最も高く、男性の20代（51.2%）以外の全ての性・年代で7割以上となっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は女性の60～64歳（37.1%）が約4割で高くなっている。一方、『不満である』は女性の20代（50.7%）が5割と高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は男性の50代（56.2%）、女性の20代（54.7%）、女性の60～64歳（54.3%）が5割台半ばと高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は男性の50代（54.3%）が5割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は女性の30代（34.4%）、男性の30代（33.3%）で3割台半ばと高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は女性の20代（53.3%）が5割台半ば、女性の30代（51.1%）が5割を超えて高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は女性の20代（37.3%）が約4割で高くなっている。それ以外の性・年代では、「どちらともいえない」の割合が最も高い。

〈防災対策について〉では、『満足している』は男性の65歳以上（31.6%）、女性の65歳以上（31.1%）が3割を超えて高くなっている。多くの性・年代で「どちらともいえない」の割合が4割以上となっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は女性の60～64歳（20.0%）が2割と高くなっているが、全ての性・年代で「どちらともいえない」の割合が最も高い。

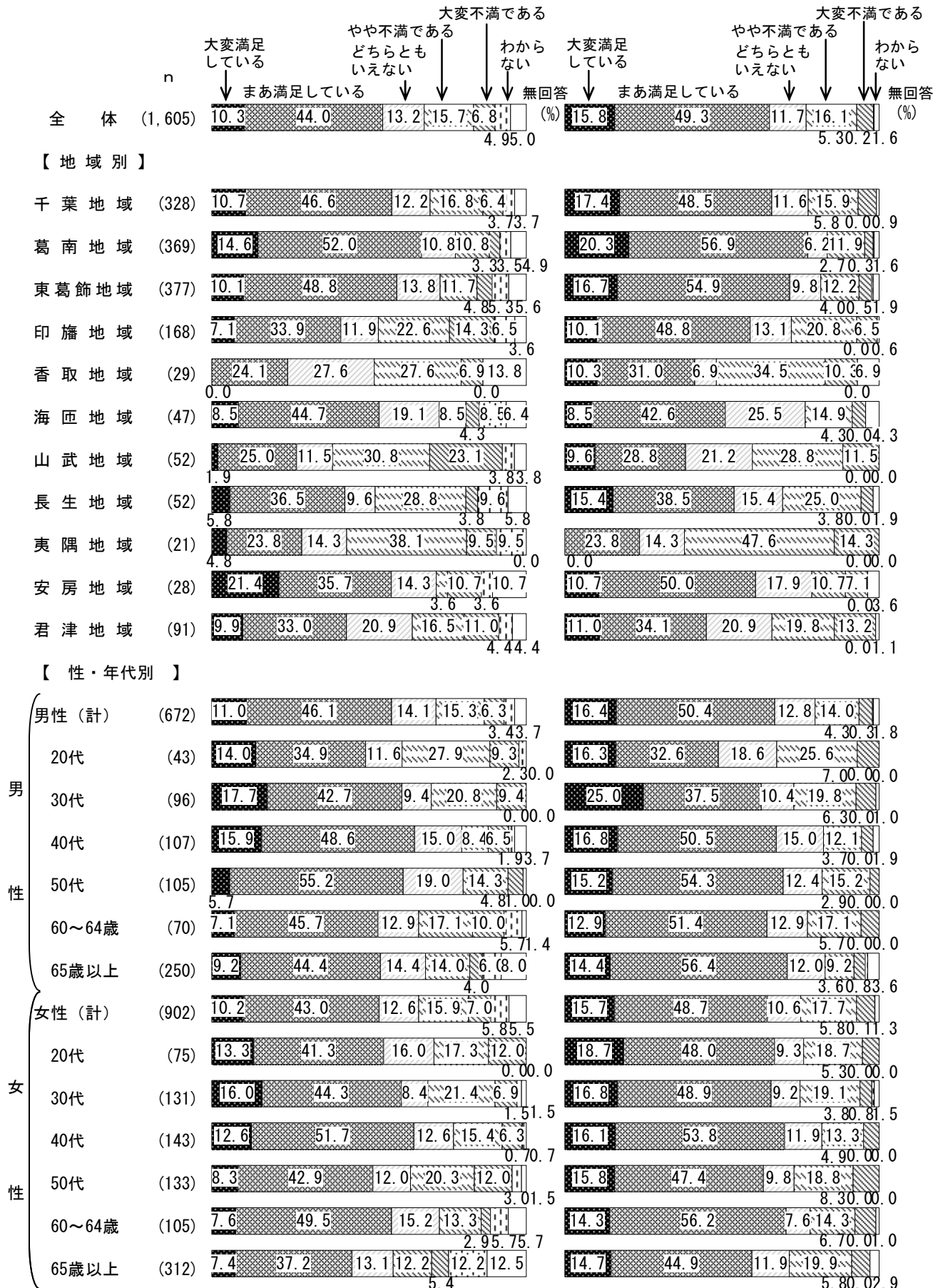
〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は男性の65歳以上（28.4%）、男性の40代（28.0%）、男性の60～64歳（27.1%）が約3割と高くなっている。

（図表1-19）

<図表 1-19> 現在の生活の満足度／地域別、性・年代別

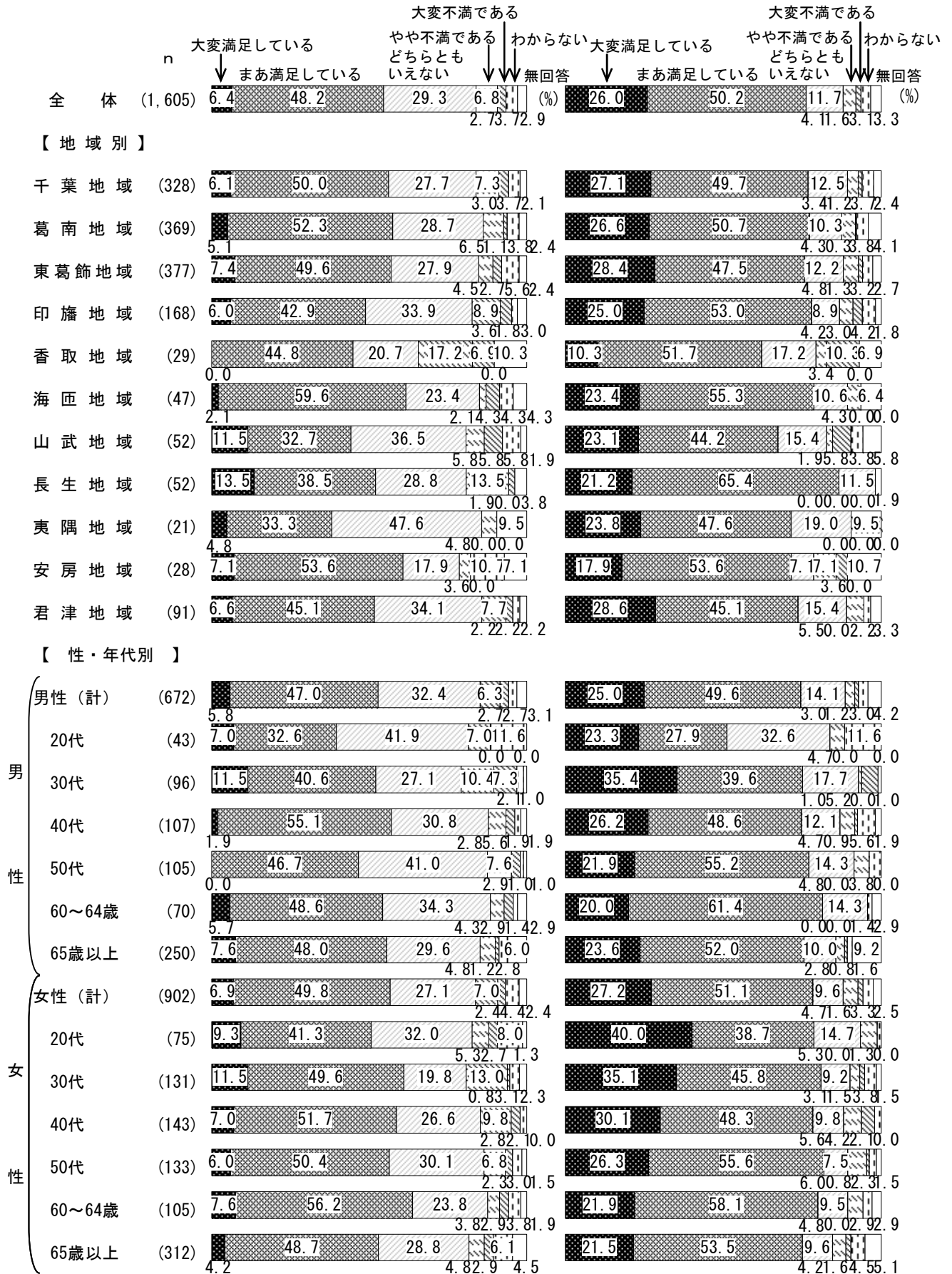
(ア) 通勤・通学の便について

(イ) 買い物の便について



(ウ) 近所や職場での人間関係について

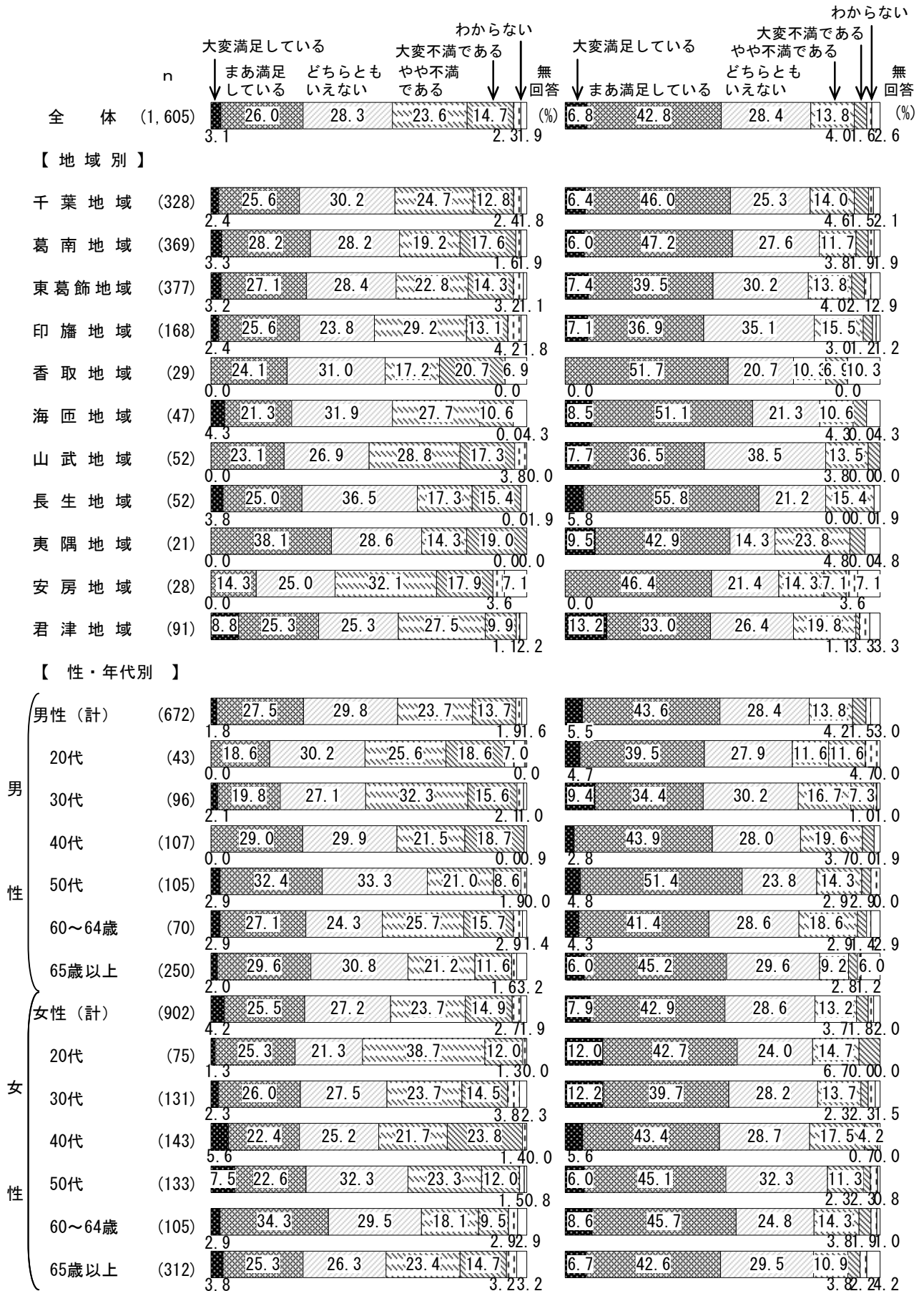
(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について





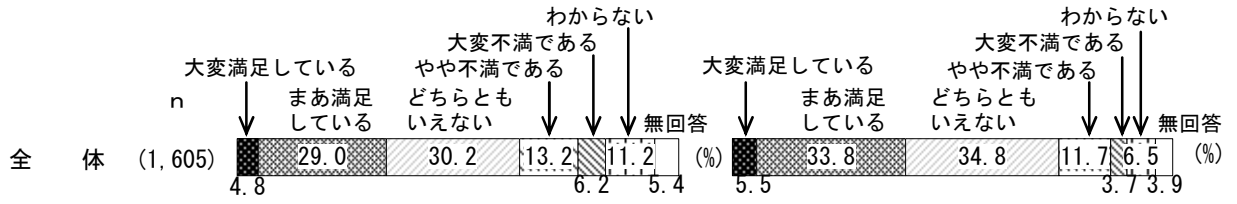
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

(カ) 心の安定や充実感について

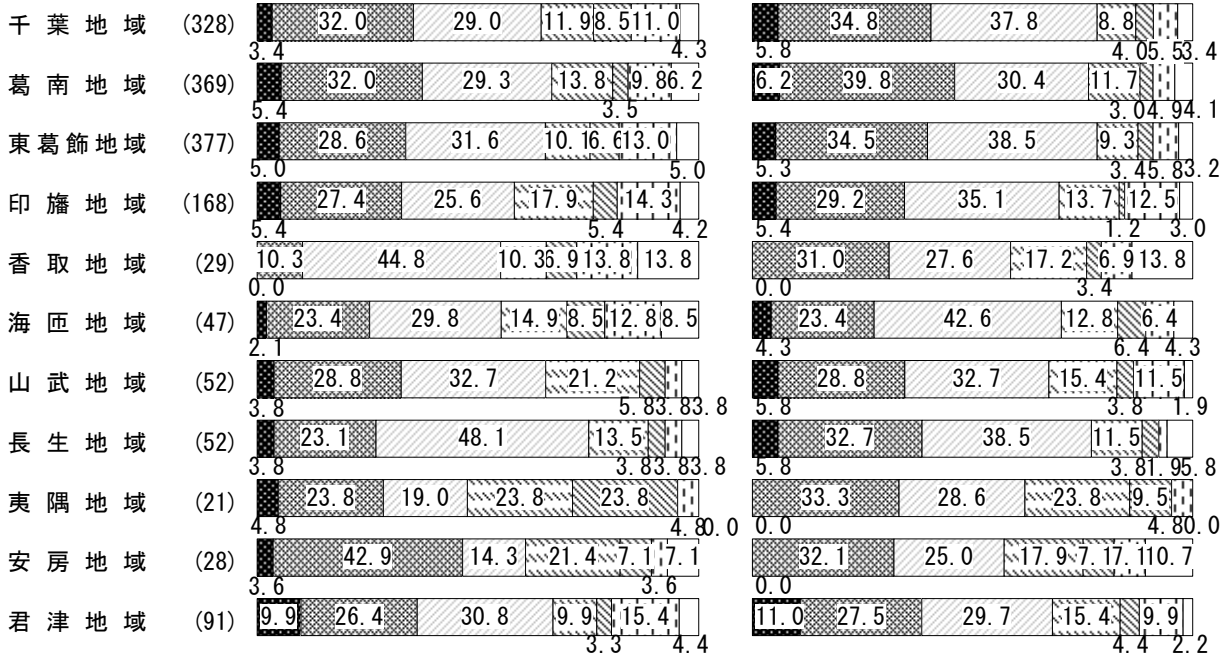


(キ) 仕事面や働く機会について

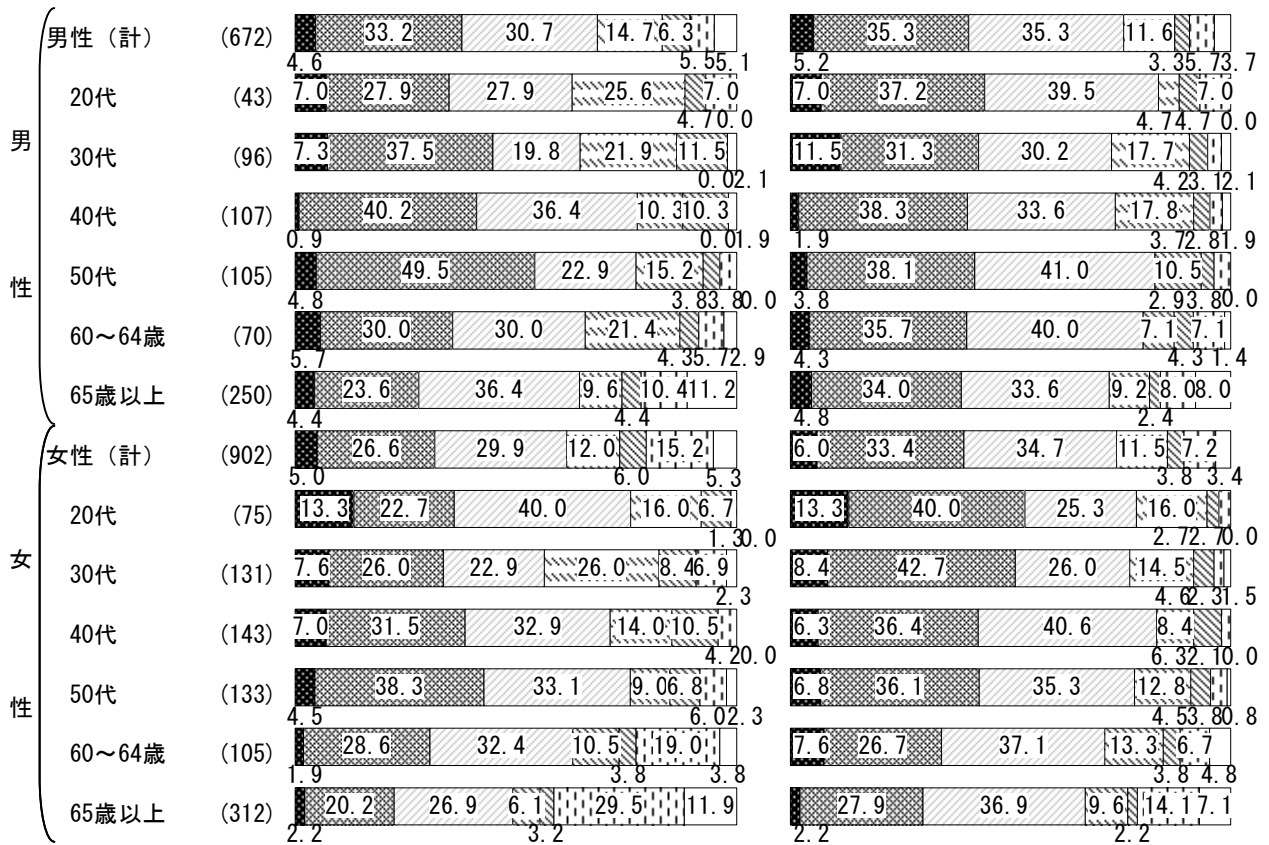
(ク) レジャー・余暇活動について



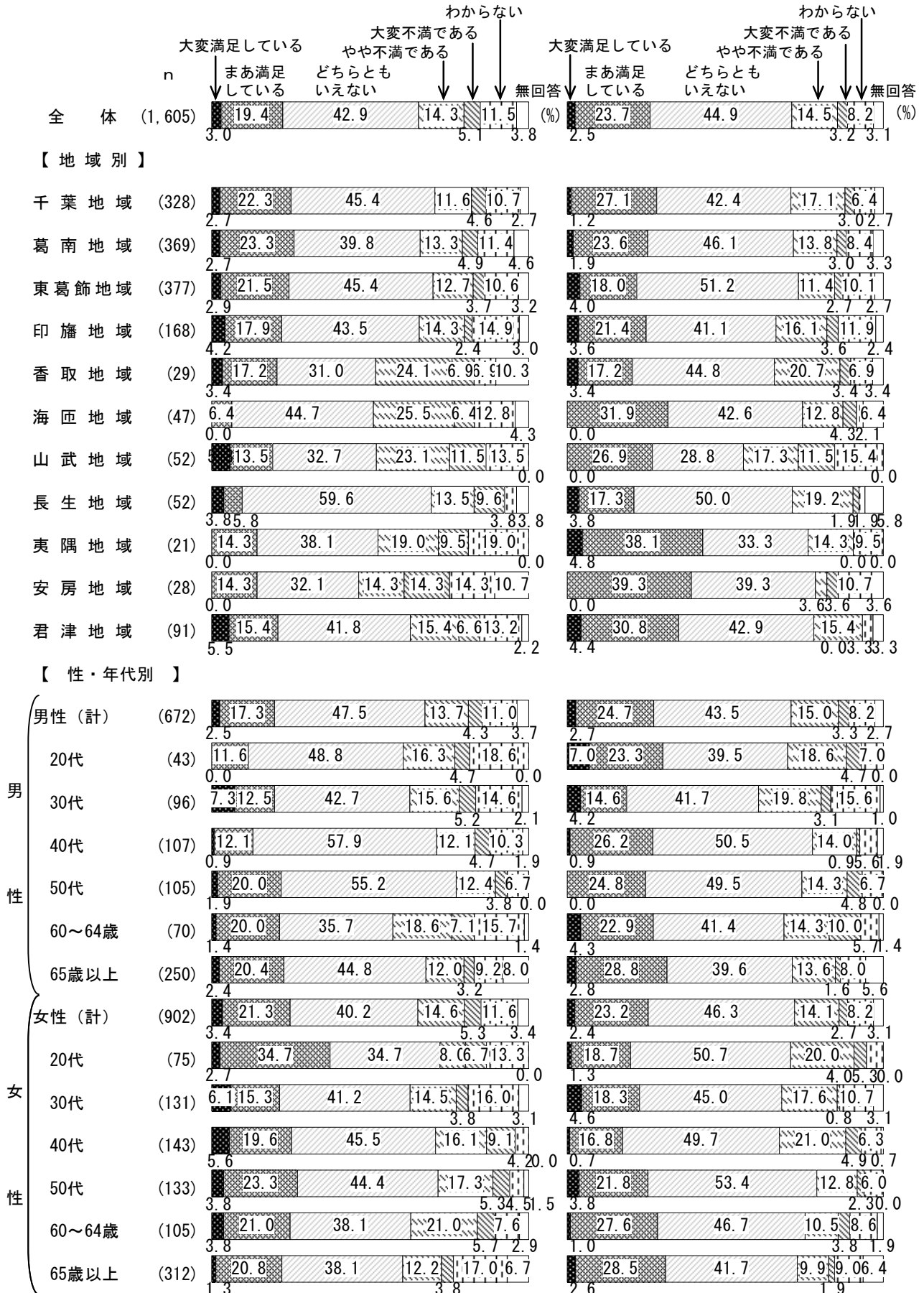
【地域別】



【性・年代別】

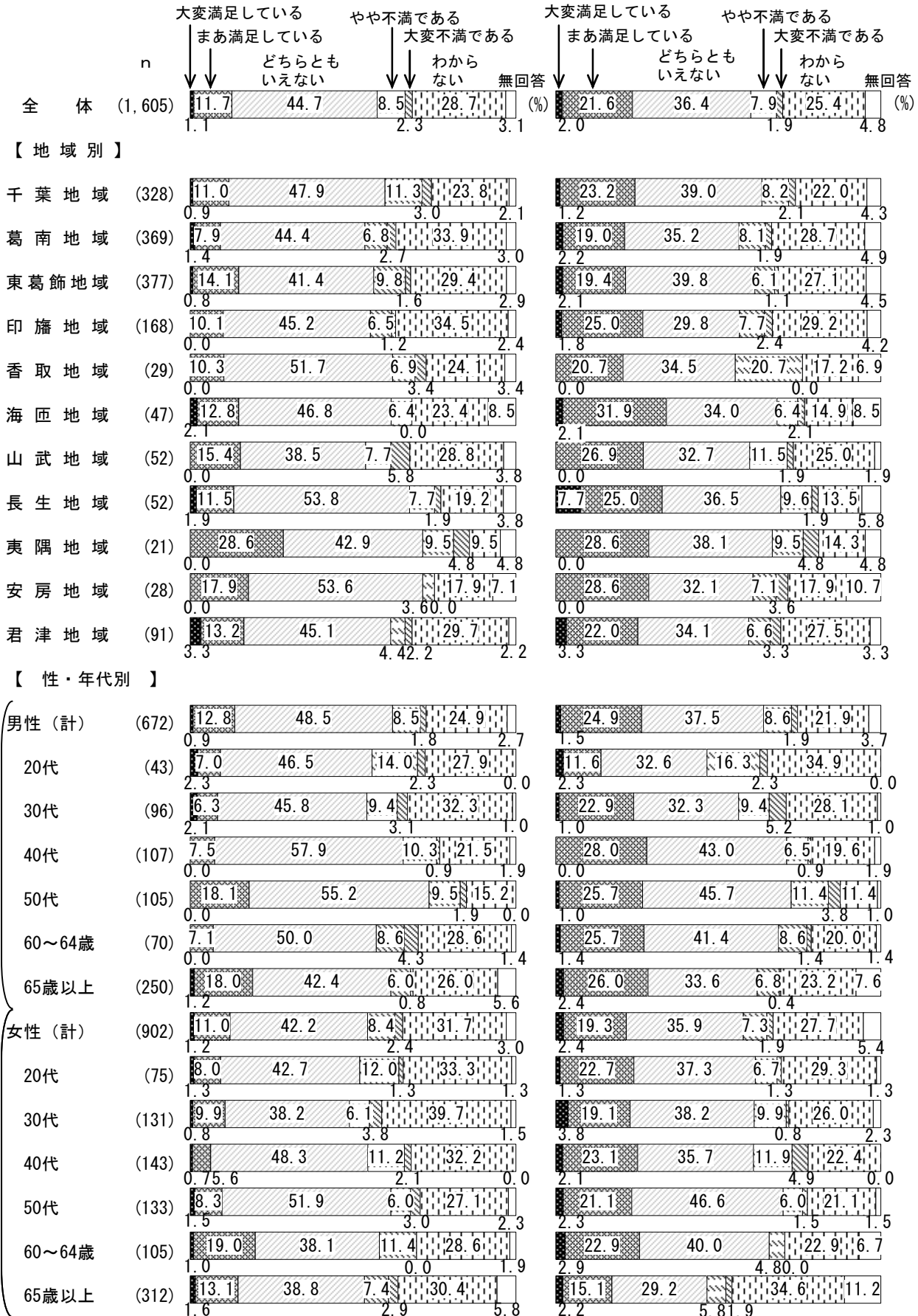


(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 防災対策について



(サ) 商品の安全や悪質商法に関する  
相談体制について

(シ) 子どもの教育や健全育成に対する  
家庭・学校・地域の連携について

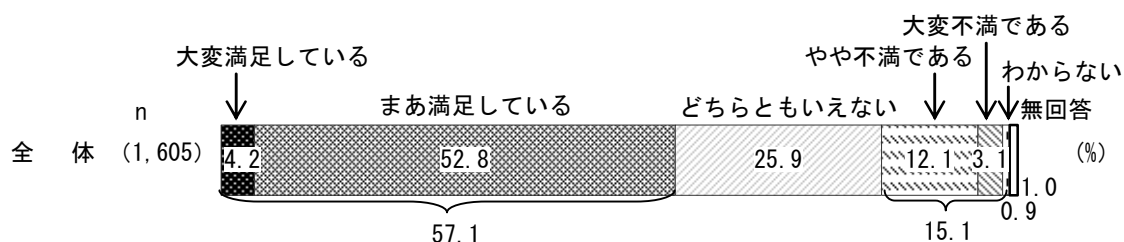


## (8) 住生活全般の満足度

◇『満足している』が約6割

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について満足していますか。  
(○は1つ)

<図表1-20>住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.2%)と「まあ満足している」(52.8%)を合わせた『満足している』(57.1%)は約6割となっている。一方、「やや不満である」(12.1%)と「大変不満である」(3.1%)を合わせた『不満である』(15.1%)は1割台半ばとなっている。(図表1-20)

【参考】平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果（単位：%）

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査 (1,550)	60.0	14.0	26.1
平成25年度調査 (1,556)	61.0	13.6	25.4
平成26年度調査 (1,605)	57.1	15.1	27.8

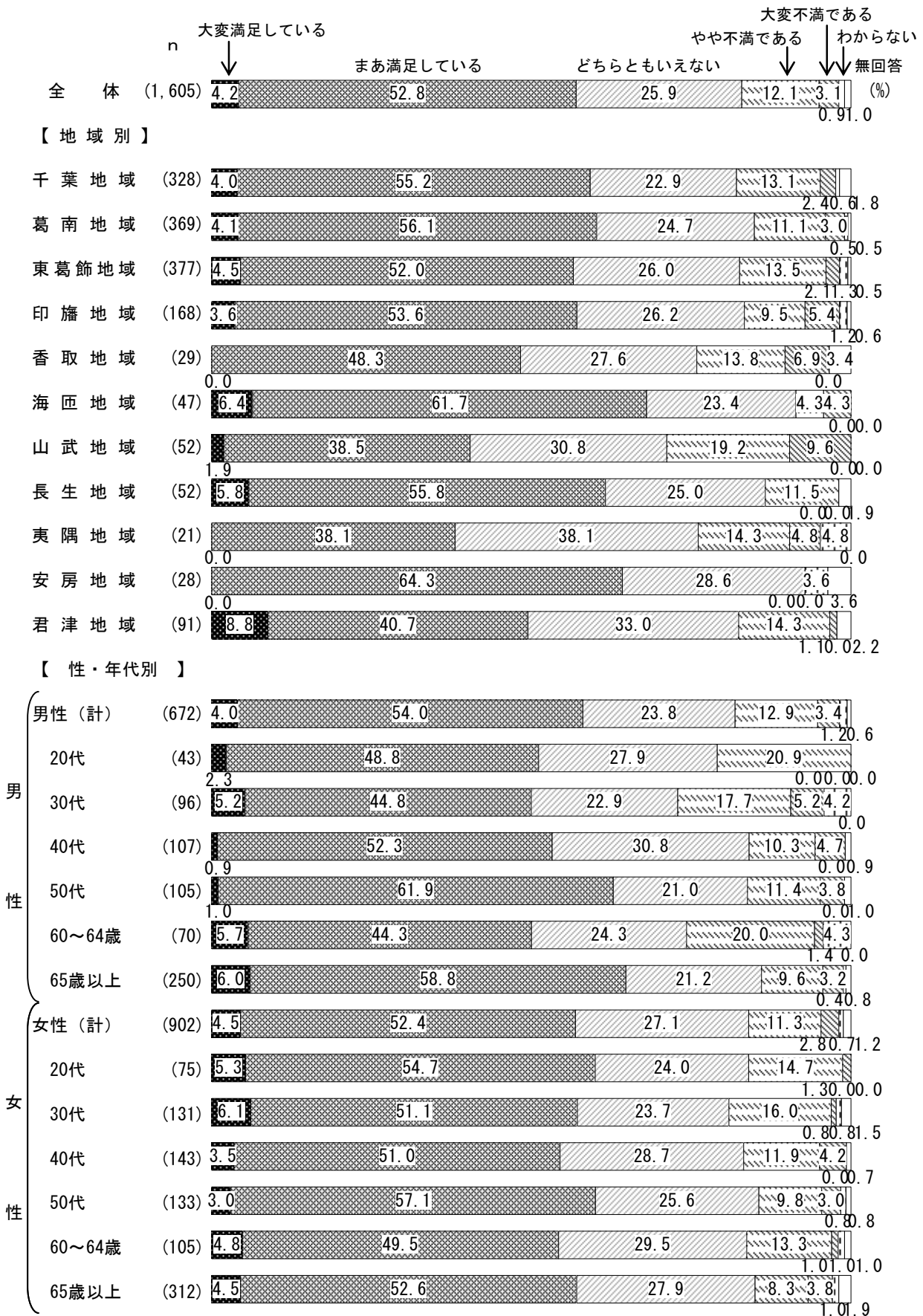
### 【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“海匠地域” (68.1%) が約7割、“安房地域” (64.3%) が6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-21)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上 (64.8%) が6割台半ば、男性の50代 (62.9%) が6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の30代 (22.9%) が2割を超えて高くなっている。(図表1-21)

<図表1-21>住生活全般の満足度／地域別、性・年代別

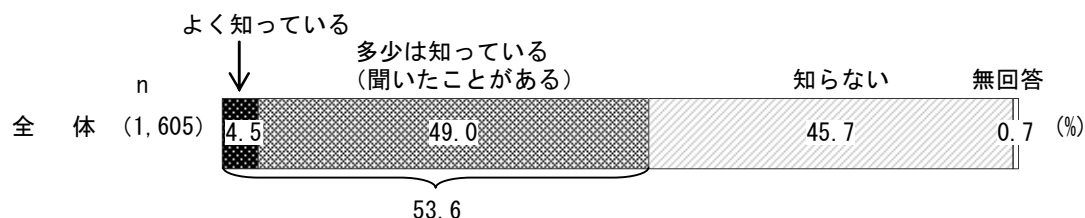


## (9) 市民活動団体の活動の認知度

◇『知っている』は5割台半ば

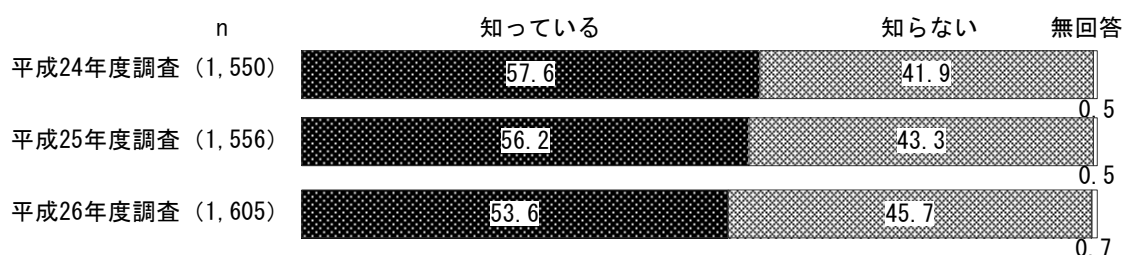
問9 あなたは、市民活動団体の活動を知っていますか。(○は1つ)

<図表1-22>市民活動団体の活動の認知度



市民活動団体の活動の認知度を聞いたところ、「多少は知っている (聞いたことがある)」(49.0%) が約5割となっており、これと「よく知っている」(4.5%) の2つを合わせた『知っている』(53.6%) は5割台半ばとなっている。一方、「知らない」(45.7%) は4割台半ばとなっている。(図表1-22)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



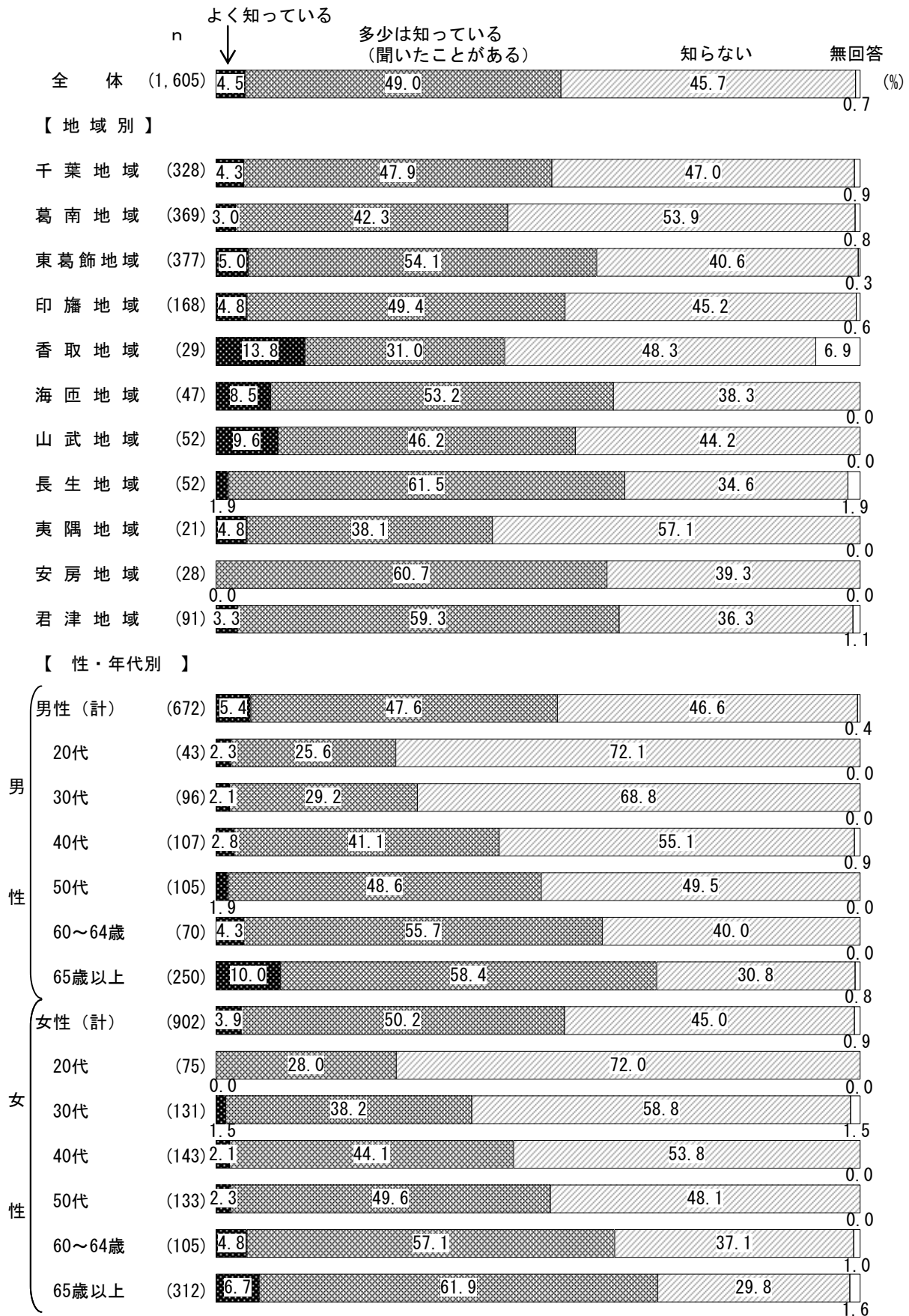
### 【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“長生地域”(63.5%) が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1-23)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(68.6%) 男性の65歳以上(68.4%) が約7割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-23)

<図表 1-23> 市民活動団体の活動の認知度／地域別、性・年代別





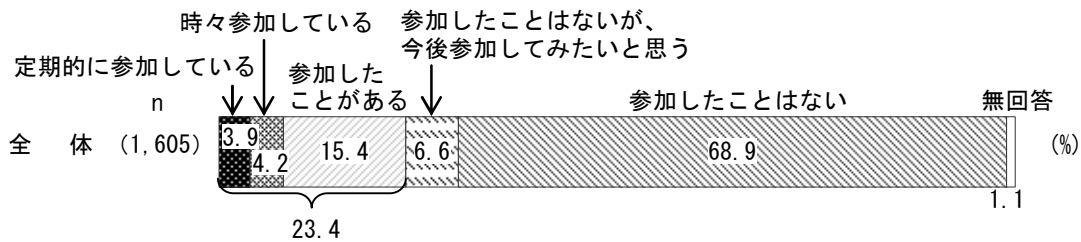
## (10) 市民活動団体の活動への参加経験

◇「参加したことはない」は約7割

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

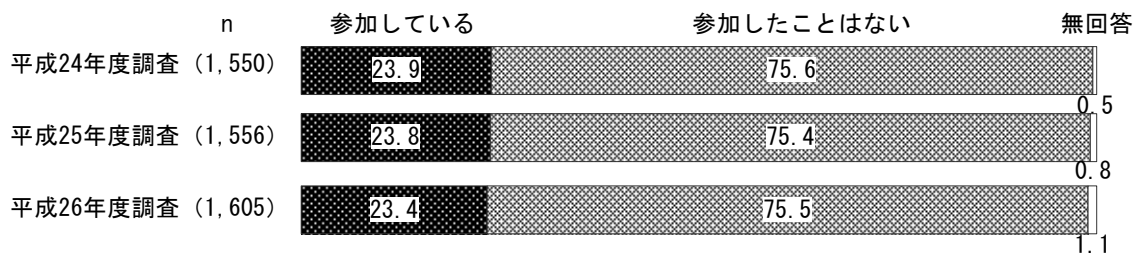
(注) ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

<図表 1-24>市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(3.9%)と「時々参加している」(4.2%)、「参加したことがある」(15.4%)の3つを合わせた『参加している』(23.4%)は2割台半ばとなっている。一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(6.6%)は1割以下、「参加したことはない」(68.9%)は約7割となっている。(図表1-24)

【参考】平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



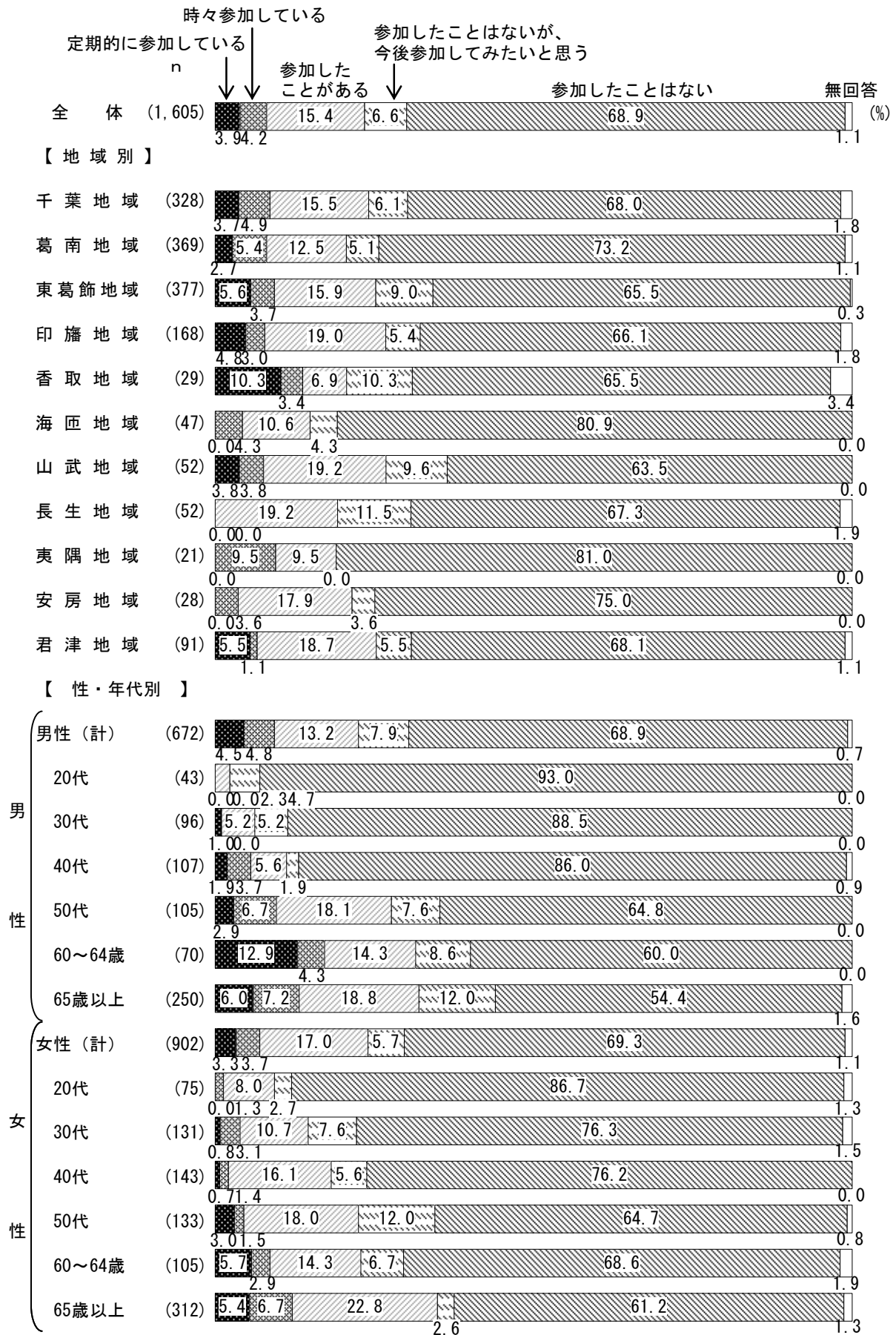
### 【地域別】

地域別にみると、『参加している』は“山武地域”(26.9%)、“印旛地域”(26.8%)が2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-25)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加している』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(34.9%)が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1-25)

<図表1-25> 市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別

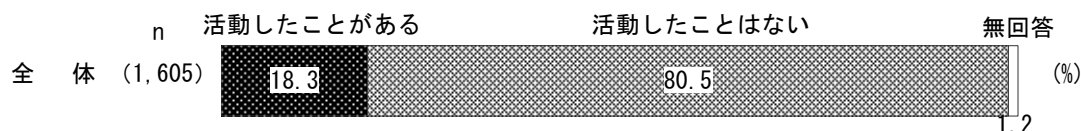


## (11) ボランティア活動経験

◇「活動したことがある」は約2割

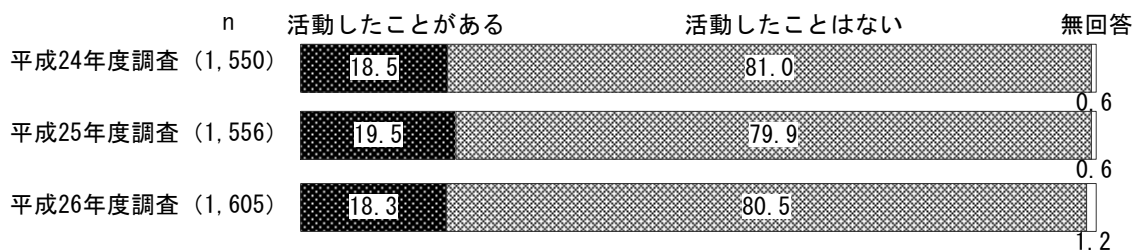
問11 市民活動団体の活動のうち、あなた自身、これまでボランティアとして活動したことがありますか。(○は1つ)

<図表1-26> ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるかを聞いたところ、「活動したことがある」(18.3%)は約2割となっている。一方、「活動したことはない」(80.5%)は8割となっている。(図表1-26)

【参考】平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



### 【地域別】

地域別にみると、「活動したことがある」は“山武地域”(25.0%)、“印旛地域”(23.8%)が2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-27)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「活動したことがある」は男性の60~64歳以上(27.1%)が約3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-27)

<図表 1-27> ボランティア活動経験／地域別、性・年代別

